

## 平成22年度追跡調査票

### 1. 事前準備シート

(1) 企業	.....	1
(2) 大学等	.....	16

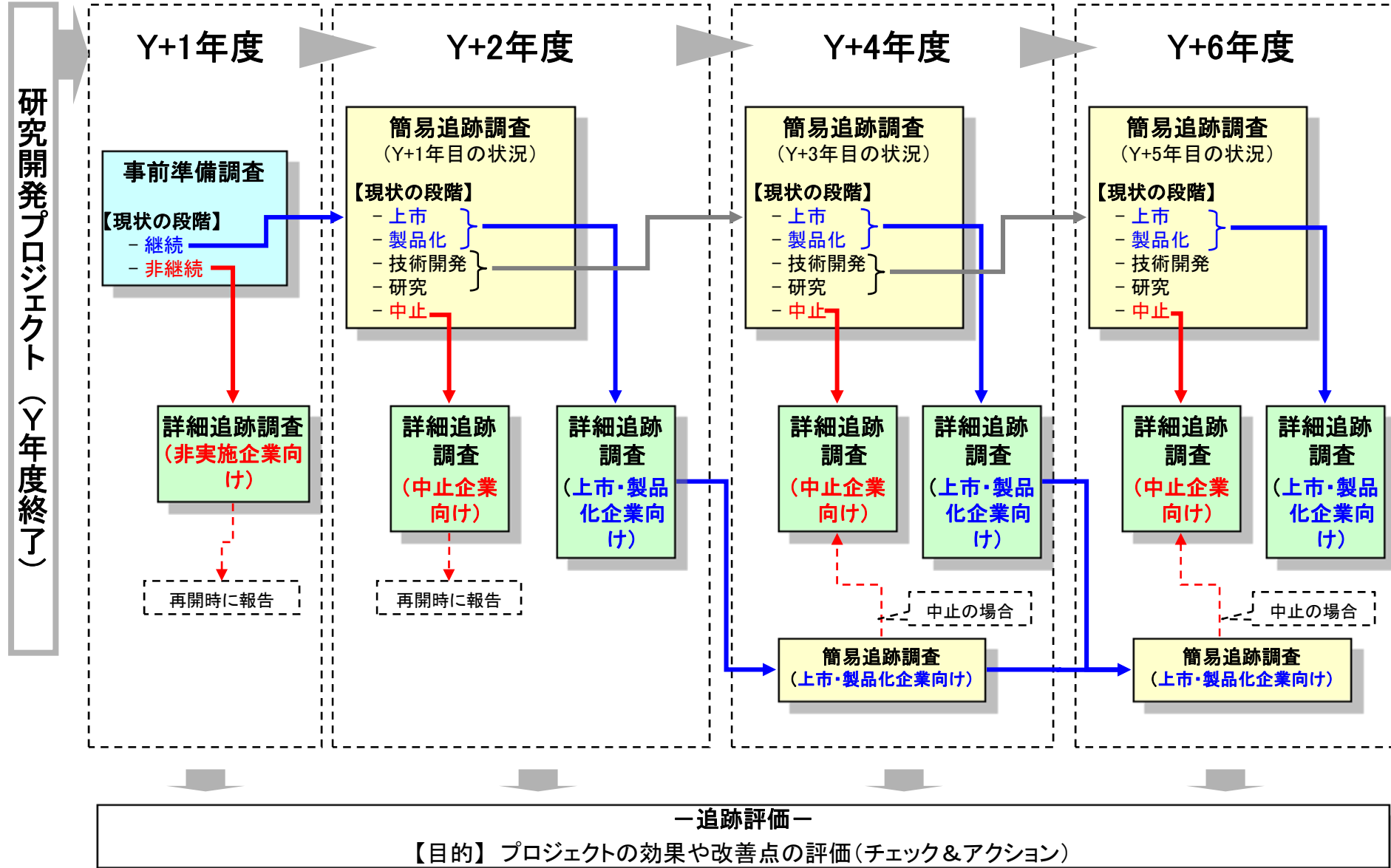
### 2. 簡易追跡調査票

(1) 企業1年目	.....	19
(2) 企業3・5年目	.....	26
(3) 大学等1年目	.....	33
(4) 大学等3・5年目	.....	37
(5) 上市用	.....	41

### 3. 詳細追跡調査票

(1) 上市・製品化段階用	.....	48
(2) 実施後中断用	.....	62
(3) 非実施用	.....	75

# NEDOプロジェクト終了後の追跡調査・評価の流れ (Y年度終了プロジェクトの例)



【事前準備シート/企業】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

※上記のご担当者欄の一部に変更や訂正がある場合、該当する欄に新しい情報をご記入願います。また、別のご担当者を登録される場合は、当該研究・技術開発、及び貴機関内（外）における成果の利用展開等の内容について把握されている方をお願いいたします。

変更後の所属機関名	
変更後の所属部署	
変更後の役職	
変更後の氏名	
変更後の連絡先（郵便番号）	
変更後の連絡先（住所）	
変更後の電話番号	
変更後のFAX番号	
変更後のE-mail	

【1. 全般について】

Q1. ご担当者のNEDOプロジェクトへの参加状況について、ご回答願います。

a. ご担当者が所属されている部署の貴機関での位置付けについて、該当するものを選択して下さい。

- 1 研究開発部門
- 2 事業部門
- 3 研究開発部門と事業部門の両方の業務を所管している
- 4 その他

記述欄

回答欄

b. ご担当者のNEDOプロジェクトへの参加の有無について、該当するものを選択してください。（単一選択）

- 1 参加した
- 2 参加していない

回答欄

≪「1 参加した」を選択された場合、c および d にご回答下さい。≫

c. ご担当者のNEDOプロジェクトへの参加の期間について、西暦でご記入願います。

参加開始年度

記述欄

参加終了年度

記述欄

d. ご担当者のNEDOプロジェクトへの参加の形態について、該当するものを選択して下さい。（単一選択）

1 業務管理者

2 研究管理者

3 研究者

4 その他

記述欄

回答欄

Q2. NEDOプロジェクトにおいて、貴機関が参加を開始した年度から終了した年度を西暦でご記入願います。

参加開始年度

記述欄

参加終了年度

記述欄

Q3. NEDOプロジェクトにおいて、貴機関が担っていた役割について最も当てはまるものをご回答下さい。

- 1 NEDOプロジェクト終了後は自機関にて製品の実用化を目指すことを念頭に、NEDOプロジェクトではそのために必要な研究開発を行った。
- 2 NEDOプロジェクトでは、実用化を目指す企業をサポートする役割（例えば性能評価など）を担った。
- 3 標準化や知的基盤整備を目的としてプロジェクトに参加した。

回答欄

Q4. NEDOプロジェクトの開始時点、及び終了時点における貴機関のテーマの研究開発段階は、次のどれに該当していましたか。【参考】研究開発段階のイメージ例をご参照の上、開始時点・終了時点のそれぞれについて選択して下さい。

開始時点

- 1 研究開発に着手する前の段階
- 3 技術開発段階
- 5 上市段階

- 2 研究段階
- 4 製品化段階

回答欄

終了時点

- 1 研究開発に着手する前の段階
- 3 技術開発段階
- 5 上市段階

- 2 研究段階
- 4 製品化段階

回答欄

【参考】研究開発段階のイメージ例

- 1 研究段階：活動の主体---研究開発部門。活動の内容---基礎的/要素的な研究（現象の新規性や性能の進歩性等について把握）。アウトプットイメージ---社内レポート、特許、論文等。
- 2 技術開発段階：活動の主体---研究開発部門。活動の内容---製品化/上市を視野に入れた研究（無償サンプル作成やユーザーへのマーケティング調査により、技術やコストの優位性、量産化技術の課題等について把握）。アウトプットイメージ---製品化/上市の判断材料となる研究結果等。
- 3 製品化段階：活動の主体---事業部門。活動の内容---製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認、試作機の製造、所管省庁/監督団体による販売承認/検査、製品を市場に投入するための設備投資の実施等）。アウトプットイメージ---有償サンプル、量産試作の実施、製造ライン設置、原価計算等。
- 4 上市段階：活動の主体---事業部門。活動の内容---市場での取引。アウトプットイメージ---製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売上発生等。



《 d で、最終目標段階として「1 研究段階」又は「2 技術開発段階」を選択された場合は g に、「3 製品化段階」又は「4 上市段階」を選択された場合は Q6 にお進み下さい。》

《 d で、「1 研究段階」又は「2 技術開発段階」を選択された場合、以下についてご回答下さい。》

- g. NEDOプロジェクト終了後に貴機関が実施している研究・技術開発等について、最終目標段階として「上市段階」又は「製品化段階」でなく、「研究段階」又は「技術開発段階」を選択された理由をご記入願います。

記述欄

《Q6にお進みください。》

《 a で、「2 貴機関では実施していない」を選択された場合、以下についてご回答下さい。》

- h. NEDOプロジェクトで得られた知見や成果を別機関(\*)に承継している場合には、当該別機関における状況及び担当者の連絡先をご記入下さいますようお願いいたします。なお、どの機関でも実施していない場合は、回答不要です。(\*別機関とは、知的財産権等の譲渡先若しくはライセンス先機関等(子会社等の関連機関を含む)です。)

<状況>(例)会社合併により(株)〇〇に研究部門が移り、そちらで実施している。特許を(株)〇〇に売却した。etc.

記述欄

<連絡先(機関名、所属、役職、氏名、住所、電話番号、FAX番号、E-mail等)>

記述欄

- Q6. NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて、計量標準や一般ユーザーがアクセスできるデータベース等の知的基盤の整備、標準化(業界標準を含む)策定に向けた活動、学会設立や大学での寄付講座の創設など、企業の直接的な経済活動とは別の活動を進められていますか。ある場合は、その具体的な内容をご記入下さい。

記述欄

Q7. NEDOプロジェクトへの参加が、貴機関における研究開発への資源配分に与えた影響に関する質問です。

- Q7-1. NEDOプロジェクトへ参加したことによって、参加以前と比べて、貴機関における当該研究開発への人的・金銭的投資配分はどのように変化しましたか。NEDOからの支援分は除いた貴機関の負担分に関してお答えください。

- a. NEDOプロジェクト参加以前と比較した、当該研究開発への人員配分

- a-1. プロジェクト開始時点(直後)の人員配分

1 大幅に減った  
4 増えた

2 減った  
5 大幅に増えた

3 変化なし

回答欄

- a-2. プロジェクト終了後の人員配分

1 大幅に減った  
4 増えた

2 減った  
5 大幅に増えた

3 変化なし

回答欄

b. NEDOプロジェクト参加以前と比較した、当該研究開発への研究開発費配分

b-1. プロジェクト開始時点（直後）の研究開発費配分

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 1 大幅に減った | 2 減った    | 3 変化なし |
| 4 増えた    | 5 大幅に増えた |        |

回答欄

b-2. プロジェクト終了後の研究開発費配分

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 1 大幅に減った | 2 減った    | 3 変化なし |
| 4 増えた    | 5 大幅に増えた |        |

回答欄

c. NEDOプロジェクト参加以前と比較した、当該技術の事業化に関する投資配分

c-1. プロジェクト開始時点（直後）の事業化に関する投資配分

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 1 大幅に減った | 2 減った    | 3 変化なし |
| 4 増えた    | 5 大幅に増えた |        |

回答欄

c-2. プロジェクト終了後の事業化に関する投資配分

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 1 大幅に減った | 2 減った    | 3 変化なし |
| 4 増えた    | 5 大幅に増えた |        |

回答欄

Q7-2. NEDOプロジェクト実施期間における、貴機関の当該研究テーマに関連する研究開発総費用（NEDO研究開発費を含む）に占めるNEDO研究開発費の割合を、可能でしたら概ねのパーセンテージでご回答下さい。

記述欄

Q7-3. 仮にNEDOプロジェクトに参加しなかった場合、当該技術開発は貴機関の中で、その後どのような状況になっていたと考えられますか。

- 1 技術課題を克服することが困難となった
- 2 開発が遅れて、他社に対して劣位となった
- 3 当該技術開発の規模（人員、開発費）が小さくなった
- 4 当該技術開発は中止された
- 5 当該技術開発はそもそも実施されなかった

回答欄

Q8. 特記事項

既に上市・製品化しているなど、現時点でプロジェクトの成果を活用して具体的進展があった場合は、その状況等をご記入願います。

記述欄

## 【2. プロジェクト参加時点の状況】

Q1. NEDOプロジェクト参加開始時点で、上市・製品化を想定していましたか。

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

回答欄

Q1-1. 「1 はい」を選択された場合は、プロジェクト参加開始時点で想定されていた上市または製品化の時期（年度）を西暦でお教え下さい。

記述欄

Q1-2. NEDOプロジェクトの実施にあたって、研究開発部門に加えて事業部門や事業化担当者（営業部門も含む）が初めて関与した時期をお教え下さい。

- 1 プロジェクト参加以前
- 2 プロジェクト参加開始時点（提案書作成、参加決定等）
- 3 プロジェクト前半
- 4 プロジェクト中間時点（中間評価への対応等）
- 5 プロジェクト後半
- 6 プロジェクト終了後
- 7 これまでに事業部門の関与はない

回答欄

Q2. NEDOプロジェクトで貴機関が行った技術開発は、プロジェクト参加開始時点において、貴機関を含めて何機関くらいで取組まれていましたか。またそのうち、国内機関は何機関程度でしたか。それぞれおおよその数をお教え下さい。

a. 全体

記述欄

b. うち、国内機関

記述欄

Q2-1. 上記の内、当該NEDOプロジェクトに参加した機関は貴機関を含めて何機関でしたか。

記述欄

Q3. NEDOプロジェクト参加開始時点において、当該プロジェクトに関する貴機関の技術開発力（技術ポテンシャル）は、他機関（他社）と比較してどの程度でしたか。

- 1 他機関と比較して圧倒的に進んでいた（もしくは貴機関のみが開発していた）
- 2 他機関と比較して進んでいた
- 3 他機関と同等のレベルにあった（競合する機関の中で平均レベル）
- 4 他機関と比較して遅れていた
- 5 他機関と比較して圧倒的に遅れていた

回答欄

Q4. NEDOプロジェクトへの参加開始時点における技術シーズは、どのようにして開発されましたか。【複数回答可】

- 1 参加開始時点では技術シーズはなく、NEDOプロジェクト実施中に開発した
- 2 NEDOプロジェクト参加前に、自社費用にて開発した
- 3 NEDOプロジェクト参加前に、公的資金を用いて開発した
- 4 NEDOプロジェクト参加前に、他機関から購入もしくはライセンスを受けた
- 5 その他

記述欄

回答欄

Q5. NEDOプロジェクトへの参加の経緯としてあてはまるものは何ですか。【複数回答可】

- 1 経営陣による決定・指示
- 2 申請者（研究代表者）の上司（部門長など）による決定・指示
- 3 申請者（研究代表者）による自主的な参加（申請者が社内を説得）
- 4 他部門（事業部門など）からの誘い
- 5 民間他機関からの誘い
- 6 政府機関からの誘い
- 7 その他

記述欄

回答欄



Q6. NEDOプロジェクト参加開始時点（もしくは直前）における、当該技術開発の貴機関内での位置付けはどのようなものでしょうか。

- 1 組織の戦略上不可欠と判断された技術開発
- 2 組織の戦略上重要と判断された技術開発
- 3 組織の戦略上特に重要と判断されてはいなかった技術開発
- 4 組織の戦略上ほとんど注目されていなかった技術開発
- 5 組織の戦略上不必要と判断されていた技術開発

回答欄

Q6-1. NEDOプロジェクト参加開始以前における、当該技術開発に対する貴機関内の支援状況（人的支援、金銭的支援、時間的支援）はどの程度でしたか。

- 1 全面的な支援を受けていた
- 2 比較的多くの支援を受けていた
- 3 平均的な支援を受けていた
- 4 支援は不十分であった
- 5 全く支援を受けられなかった
- 6 まだ開発が始まっていなかった（NEDOプロジェクトで開発が始まった）

回答欄

Q7. NEDOプロジェクト参加開始時点における、当該技術の重要性や意義に関する社会的認知の程度は如何ですか。

- 1 既に社会的に重要性や意義が十分に認知され、多くの機関が注目していた
- 2 重要性や意義が認知され始めており、複数の機関が注目していた
- 3 重要性や意義はまだ認知されていなかった
- 4 技術そのものの存在がまだ十分に認知されていなかった

回答欄

Q8. NEDOプロジェクトへの参加開始時点で、プロジェクトにより得られると期待したメリットは何でしたか。

a. 技術的課題の克服

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

b. コスト的課題の克服

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

c. 技術開発・製品開発のスピードアップ

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

d. 他機関との人的・組織的ネットワークの形成

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

e. 共同研究による他機関の技術の獲得

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

f. 他機関との共同による技術開発

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

g. リスクの分散（ハイリスクの開発へ取組むことができる）

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

h. 研究開発資金の確保

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

i. 人材育成（参加した研究者の質的向上）

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

j. 技術標準化の促進

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

k. NEDOプロジェクトへの参加による社外での知名度向上

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

l. NEDOプロジェクトへの参加による社内での正当性確保

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

Q9. NEDOプロジェクトに参加したメンバーの人数についての質問です。全ておおよその人数でお答えください。

Q9-1. 本プロジェクトの開始から終了まで一貫して参加した中心メンバーは何人程度ですか。

記述欄

Q9-2. 前問でお答え頂いた中心メンバーを含め、本プロジェクトには、平均して常時何人くらいのメンバーが参加していましたか。

記述欄

Q9-3. 事業化を担当するメンバー（たとえば社内の事業部から参加するメンバー）は本プロジェクトに何人参加しましたか。プロジェクト参加開始時点、中間時点、終盤時点、プロジェクト終了後に分けて、それぞれおおよその人数をお答えください。

a. プロジェクト開始時点のおおよその人数

記述欄

b. 中間時点のおおよその人数

記述欄

c. プロジェクト終盤時点のおおよその人数

記述欄

d. プロジェクト終了後のおおよその人数

記述欄

Q10. プロジェクトメンバーの選出はどのように行われましたか。当てはまるものをその度合いの強い順に、左端の回答欄から記入して下さい。

- 1 貴機関の研究リーダーによる選出
- 2 メンバーの自主的参加（公募など）
- 3 組織の上司（部門長など）による指名
- 4 トップ経営陣による指名
- 5 社内の開発部隊がそのまま参加したので特に選出はない
- 6 その他

記述欄

回答欄

【3. プロジェクト活動について】

Q1. 貴機関は当該NEDOプロジェクトにどのような形で参加されておりましたか。

- 1 集中研に参加し、実質的に他機関と共同開発
- 2 集中研に参加したが、実質的には自機関に持ち帰って単独開発
- 3 集中研には参加しなかったが、実質的には他機関と共同開発
- 4 集中研に参加せず、実質的に単独で開発

回答欄

Q2. プロジェクト活動に関する以下の記述に関して、お答え下さい。

a. プロジェクト実施にあたっての責任の所在が明確であり、また強力なリーダーシップを有するリーダーが存在した

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

b. 研究部門と事業部門を橋渡し、または研究から実用化まで担当するキーパーソンが存在した

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

c. プロジェクト期間中、貴機関の他部門の人々と頻繁なやり取りを行った

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

d. プロジェクト期間中、他機関のメンバーと頻繁なやり取りを行った

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

e. プロジェクト期間中、貴機関の組織から継続的な支援・協力（人的、金銭的）を受けることができた

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

f. プロジェクト期間中に、技術面または事業面で他機関との連携を行った

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

g. プロジェクト期間中からユーザーニーズを反映して開発目標を設定していた

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

Q3. 以下の「技術動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による技術動向調査

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

b. 社内部門（研究企画など）による技術動向調査

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

s. プロジェクトメンバーによる技術動向調査

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

Q4. 以下の「市場動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関を通じた市場動向調査

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

b. 社内部門（企画・営業・マーケティングなど）による市場動向調査

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

c. プロジェクトメンバーによる市場動向調査

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

d. プロジェクトメンバーによる顧客への直接的な接触

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

Q5. 以下の「コスト目標の設定」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による調査を参考にしてコスト目標を設定した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

b. 社内部門（企画・営業・マーケティング・資材・購買など）の協力を得てコスト目標を設定した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

c. プロジェクトメンバーが共同でコスト目標を設定した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

d. プロジェクトリーダーもしくは一部のメンバーがコスト目標を設定し、メンバーで共有した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

Q6. 以下の「特許動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による特許動向調査を実施した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

b. 社内部門（知財部など）の協力を得て知財戦略を策定した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

c. プロジェクトメンバーが自主的に知財動向を調査して知財戦略を策定した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的に行った   |             |

回答欄

Q7. NEDOプロジェクトの期間中に、NEDO、プロジェクトリーダーまたはNEDOが組織した委員会から、以下の選択肢に記載された活動を行うように指導・指示は行われましたか。【複数回答可】

- |          |          |            |
|----------|----------|------------|
| 1 技術動向調査 | 2 市場動向調査 | 3 コスト目標の設定 |
| 4 特許動向調査 |          |            |

回答欄

【4. プロジェクトの成果について】

Q1. 以下の「現時点でのプロジェクトの成果」について、プロジェクト参加当初に想定した目標の達成度という観点から主観的に評価した場合について、お答えください。

a. 技術的課題の克服

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

b. コスト的課題の克服

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

c. 技術開発・製品開発のスピードアップ

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

d. 他機関との人的・組織的ネットワークの形成

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

e. 共同研究による他機関の技術の獲得

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

f. 他機関との共同による技術開発

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

g. ハイリスクな研究開発の実施

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

h. 人材育成（参加した研究者の質的向上）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

i. 技術標準化の促進

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

j. 社外での知名度向上

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

k. 社内における開発活動の正当性確保

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  | 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった |
| 3 どちらとも言えない           | 4 当初の期待通りの成果が得られた    |
| 5 当初の目標を遙かに超えた成果が得られた |                      |

回答欄

Q2. プロジェクト期間中および終了時点において、当初の想定に反して起きたことに関して、お答えください。【複数回答可】

Q2-1. プロジェクト期間中

- 1 想定外の優れた競合技術が出現した
- 2 予想外に景気が悪化した
- 3 想定したユーザーニーズが存在しなかった、または変化していた
- 4 新技術の導入コストの回収が難しかった
- 5 原料の安定確保が困難であった
- 6 組織における事業戦略が転換され技術開発の方向性と乖離した
- 7 研究開発投資の優先順位が下がった
- 8 優れた知見をもった研究者が退職した

回答欄

Q2-2. これらの想定に反して起きたことに対して、どのように対応されましたか。また、NEDO、PLまたはNEDOが組織した委員会等から有効な助言を得ていれば、その内容をお教え下さい。

記述欄

Q2-3. プロジェクト終了時点～現在

- 1 想定外の優れた競合技術が出現した
- 2 予想外に景気が悪化した
- 3 想定したユーザーニーズが存在しなかった、または変化していた
- 4 新技術の導入コストの回収が難しかった
- 5 原料の安定確保が困難であった
- 6 組織における事業戦略が転換され技術開発の方向性と乖離した
- 7 研究開発投資の優先順位が下がった
- 8 優れた知見をもった研究者が退職した

回答欄

Q2-4. これらの想定に反して起きたことに対して、どのように対応される予定（または対応中）ですか。また、NEDOがサポートできる点があれば、その内容をお教え下さい。

記述欄

Q3. 現時点における、当該技術分野における貴機関の特許ポジション（最も競争力のある他機関と比較した場合の貴機関の特許上の優位性）を評価してください。

1 かなり劣位  
4 優位

2 劣位  
5 かなり優位

3 他機関と同等

回答欄

Q4. 現時点で、当該技術・製品を開発している企業は、貴機関を含めて何機関くらいですか。またそのうち、国内機関は何機関くらいですか。それぞれおおよその数をお答えください。

a. 全体

記述欄

b. うち、国内機関

記述欄

Q4-1. 上記の内、当該NEDOプロジェクトに参加した機関は貴機関を含めて何機関でしたか。

記述欄

Q5. NEDOプロジェクト活動の結果に関して以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- 1 当該研究開発に対応する新たな部署が設置された
- 2 当該研究と関連する研究開発プロジェクトが社内で立ち上がった
- 3 新たな事業部門が設置された
- 4 新たな社内ベンチャーが生まれた
- 5 新たに他社との合弁会社が設立された（設立された場合  社）
- 6 貴機関での新たな雇用創出・維持につながった

記述欄

回答欄

Q5-1. 上記で選択された項目について、具体的な内容をお教え下さい。

記述欄

#### 【5. NEDOプロジェクトに対する評価と改善点】

Q1. 現時点で振り返り、NEDOが行ったプロジェクト運営管理で、良かった点、悪かった点、取り入れるべきであった点がありましたら、ご記入下さい。

良かった点（具体的に）

記述欄

悪かった点、取り入れるべきであった点（具体的に）

記述欄

#### 【さいごに】

本調査票にてご回答頂いた内容について、補足等があればご記入下さい。

記述欄



NEDOや国への要望（新規プロジェクトの立案、補助制度の新設や見直し、法的環境整備、税制改正等を含む）がございましたら、ご記入願います。

記述欄

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)



Q2. NEDOプロジェクトにおいて、貴機関が参加を開始した年度から終了した年度を西暦でご記入願います。

参加開始年度

記述欄

参加終了年度

記述欄

Q3. NEDOプロジェクトに参加しなければ得られなかった、貴機関の固有研究テーマ水準の向上、研究活動の活性化、特筆すべき成果、ブレークスルー等がありましたら、簡単にご記入願います。

記述欄

Q4. NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて研究等を実施していますか。該当するものを選択して下さい。

1 実施している

2 実施していない

回答欄

Q4-1. 「2 実施していない」を選択された場合は、その理由を簡潔にご記入願います。その後、Q5へお進み下さい。

記述欄

Q4-2. 「1 実施している」場合、NEDOプロジェクト終了後に貴機関が実施している研究等の名称をご記入願います。（例）〇〇技術を利用した◎◎装置の開発、〇〇技術の確立、etc.

記述欄

Q4-3. NEDOプロジェクトの成果を5年以内に産業界に技術移転する予定はありますか。

1 予定がある

2 予定はない（学術研究に活用される場合等）

回答欄

Q4-4. 「1 予定がある」を選択された場合、想定される技術移転の形態はどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- 1 ノウハウを企業へライセンス等により提供
- 2 将来、企業における権利化を想定して、企業に技術を譲渡
- 3 将来、共同での権利化を想定して、企業と技術を共有
- 4 貴機関（または技術移転機関）において単独で権利化し、企業へのライセンスまたは譲渡
- 5 （大学、独法、国公立の研究機関発の）ベンチャー企業立ち上げ
- 6 その他（具体的にご記入下さい。なお、企業に対する技術指導等を含みます。）

記述欄

回答欄

Q4-5. 既に、ノウハウを提供した企業にて製品化され売上が出ている、大学発ベンチャーとして世の中の注目を得ているなど特筆すべき成果がありましたら、その技術移転の時期、具体的内容をご記入願います。

記述欄

Q5. 現時点で振り返り、NEDOが行ったプロジェクト運営（目標設定、実施体制、実施期間・時期、予算、PLとのコミュニケーション、中間・事後評価、市場・社会動向との連携等）で、良かった点、悪かった点、取り入れるべきであった点がありましたら、ご記入願います。

良かった点（具体的に）

記述欄

悪かった点、取り入れるべきであった点（具体的に）

記述欄

Q6. 参加されたプロジェクトの技術分野において、NEDOとして今後さらに取組むべき課題はありますか。

1 ある

2 ない

3 わからない

回答欄

Q6-1. 「1 ある」を選択された場合は、それはどのような内容ですか。可能な範囲で具体的にご記入願います。

記述欄

Q7. NEDOや国への要望（新規プロジェクトの立案、補助制度の新設や見直し、法的環境整備、税制改正等を含む）がございましたら、ご記入願います。

記述欄

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄（エラー未修正の理由）

【簡易追跡調査票/企業1年目】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
終了後のテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

※上記のご担当者欄の一部に変更や訂正がある場合、該当する欄に新しい情報をご記入願います。また、別のご担当者を登録される場合は、当該研究・技術開発、及び貴機関内（外）における成果の利用展開等の内容について把握されている方をお願いいたします。

変更後の所属機関名	
変更後の所属部署	
変更後の役職	
変更後の氏名	
変更後の連絡先（郵便番号）	
変更後の連絡先（住所）	
変更後の電話番号	
変更後のFAX番号	
変更後のE-mail	

☆標記のNEDOプロジェクト終了後、昨年度に、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて実施された研究や技術開発（以下、「研究・技術開発等」※）について、お伺い致します。※公的資金を得て実施している研究開発を含みます。

Q1. 前回の追跡調査で設定していただいた最終目標、最終目標に至るまでの各段階の達成予定時期のいずれかに変更のある場合は、変更後の最終目標及び最終目標に至るまでの各段階の予定をご記入願います。（注意）最終目標に変更が無く、達成予定時期についてのみ変更がある場合であっても、Q1-1の質問にもご回答下さい。

Q1-1. 貴機関が実施している研究・技術開発等が、最終的に目標とされる最終目標段階を選択して下さい。（単一選択）（※変更後を記入。）

1 研究段階  
4 上市段階

2 技術開発段階

3 製品化段階

回答欄

<ご参考>

前のご回答

Q1-2. 貴機関が実施している研究・技術開発等について、研究開発段階のイメージ例を参考にQ1-1最終目標段階に至るまでの各段階の予定時期をご記入願います。（注意）例えば、西暦20XX年度中に技術開発段階を終了し、その後、製品化段階に着手する予定の場合は、「2 技術開発段階：20XX」と西暦で記入。

研究段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>

前のご回答

技術開発段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

製品化段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

上市段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

【参考】研究開発段階のイメージ例

- 1 研究段階：活動の主体---研究開発部門。活動の内容---基礎的/要素的な研究（現象の新規性や性能の進歩性等について把握）。アウトプットイメージ---社内レポート、特許、論文等。
- 2 技術開発段階：活動の主体---研究開発部門。活動の内容---製品化/上市を視野に入れた研究（無償サンプル作成やユーザーへのマーケティング調査により、技術やコストの優位性、量産化技術の課題等について把握）。アウトプットイメージ---製品化/上市の判断材料となる研究結果等。
- 3 製品化段階：活動の主体---事業部門。活動の内容---製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認、試作機の製造、所管省庁/監督団体による販売承認/検査、製品を市場に投入するための設備投資の実施等）。アウトプットイメージ---有償サンプル、量産試作の実施、製造ライン設置、原価計算等。
- 4 上市段階：活動の主体---事業部門。活動の内容---市場での取引。アウトプットイメージ---製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売上発生等。

Q1-3. 以前に設定していただいた最終目標または達成予定時期を変更した場合は、その理由をご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q1-4. 最終目標、または達成予定時期の変更に至られた理由について、NEDOがサポート（継続プロジェクトの立案、提案公募事業等の情報提供、成果普及のための標準化活動、広報支援等）出来る点があれば、ご記入願います。場合によっては、NEDOから別途詳細をお伺いすることがございます。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q2. 当該研究・技術開発等の昨年度末時点の状況について、各段階のイメージ例を参考にもっとも当てはまる段階を選択してください。（単一選択）

- 1 研究段階
- 2 技術開発段階
- 3 製品化段階
- 4 上市段階
- 5 実施後中断又は中止※

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

※プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、プロジェクト終了後に研究・技術開発等を行っていたが、昨年度末時点でその取り組みを中断もしくは中止された場合「5実施後中断又は中止」を選択してください。

Q3. Q2で、「3製品化段階」、又は「4上市段階」を選択された場合は、次の項目についてもご回答下さい。

Q3-1. 開発した技術名を教えてください。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-2. 上記の技術を活用する製品（商品、サービス、プロセス等）をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-3. NEDOプロジェクトの成果は、Q3-2の製品にどのように活用されていますか。可能な範囲で具体的にご説明下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-4. 売上発生の有無について、いずれかを選択して下さい。

1 有

2 無

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-5. 利益発生の有無について、いずれかを選択して下さい。

1 有

2 無

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q4. 貴機関が実施されている研究・技術開発等について、貴機関における位置付けで、もっとも当てはまるものを選択して下さい。

- 1 (全)社として取り上げているテーマである
- 2 事業本部/技術開発本部/カンパニー等で取り上げているテーマである
- 3 部/研究所等で取り上げているテーマである
- 4 上記のいずれでもない
- 5 その他（具体的にご記入下さい）

記述欄

回答欄  <ご参考>  
前回のご回答

Q5. 貴機関が実施されている研究・技術開発等について、競合技術を有する他社（者）との現時点での関係で、もっとも当てはまるものを選択して下さい。

- 1 他機関と比較して圧倒的に進んでいる（もしくは貴機関のみが開発している）
- 2 他機関と比較して進んでいる
- 3 他機関と同等のレベルにある（競合する機関の中で平均レベル）
- 4 他機関と比較して遅れている
- 5 他機関と比較して圧倒的に遅れている

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

Q6. NEDOプロジェクト期間中もしくは終了後に、プロジェクトに参加した貴機関の研究者が、他機関へ転出したか否かについて、以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 転出はない              | 2 他の国内企業へ転出した        |
| 3 海外企業へ転出した          | 4 国内の大学や公的研究機関等へ転出した |
| 5 海外の大学や公的研究機関等へ転出した | 6 転出先は不明             |

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

《Q7～Q10について、昨年度の実績をご記入願います。》

Q7. 貴機関が実施された研究・技術開発等に関連した査読付論文に関する質問です。

Q7-1. 昨年度の発表件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q7-2. ジャーナル名、表題、発行年、巻、号、第一著者を教えてください。（論文（電子媒体）の添付でも結構です。）

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q8. 貴機関が実施された研究・技術開発等に関連した新聞掲載に関する質問です。

Q8-1. 昨年度の掲載件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q8-2. 掲載された新聞名称、掲載日、記事のタイトルを教えてください。（可能な範囲でご記入願います。）

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q9. 貴機関が実施された研究・技術開発等に関連した受賞（表彰）に関する質問です。

Q9-1. 昨年度の社外での受賞（表彰）件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答



Q9-2. 上記の受賞（表彰）名称と、受賞（表彰）年度をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10. 派生技術や他製品への技術転用、もしくは他機関への技術移転など、NEDOプロジェクトの成果をプロジェクト終了後の当該研究開発テーマ以外で活用した事例はありますか。

1 ある

2 ない

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10-1. 「ある」場合、活用されているNEDOプロジェクトの成果とはどのようなものですか。【複数回答可】

1 開発・製造技術

2 評価・試験技術

3 科学的知見・データ

4 製作物（試作品等）

5 研究設備

6 その他

記述欄

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10-2. 上記のNEDOプロジェクトの成果の活用先は、以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

1 新製品の開発

2 既存製品の生産プロセスの効率化

3 既存製品（商品）の改良

4 新規研究開発テーマ（企画）の設定

5 既存事業や他分野に関する現象や因果関係（メカニズム）の解明

6 研究開発ツールや社内技術標準としての活用

7 人材育成を通じたノウハウの波及

8 その他

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10-3. 上記のNEDOプロジェクトの成果はどこで活用されていますか。【複数回答可】

1 プロジェクトに参加した研究者の所属部署

2 社内のお他部署

3 社外

4 その他

記述欄

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10-4. 上記のNEDOプロジェクトの成果はどのように活用されていますか。可能であれば、成果を活用して実施している研究開発テーマや製品名も含めてお教え下さい。また、社外で活用されている事例についても同様に可能な範囲でご記入ください。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

<例>●●の製造プロセスに使用され、従来より効率的な生産に寄与 / ●●の現象解明により、既存の●●事業に関する技術力向上に寄与 / 研究開発ツールとして使用され、●●分野の研究開発能力が向上 / 新たに●●の技術課題が抽出され、開発が進展 / 本プロジェクトに参加した研究員が、ノウハウを活かして●●の開発に貢献

Q11. プロジェクト参加期間中に、貴機関がNEDOから追加的に加速資金を得た場合に、お伺い致します。加速資金を得ていない場合は回答不要です。

Q11-1. 加速資金を得ることにより、国際競争上の優位性の確保や、製品化・上市、あるいは新たな発見へ寄与するなど、貴機関において具体的な効果がありましたらご記入下さい。なお、複数回にわたり得ている場合、それぞれについてお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

<例>加速資金を得ることにより、当初○○技術に予定していた研究開発期間を1年以上大幅に短縮することができた。その結果、競合他社との優位性を保つことが出来、現在は従来に比べ撮影スピード2倍（世界一）の○○を平成○○年○月より販売を開始している。また、○○技術は、NEDOプロジェクトで医療機器への応用展開を進めるなど異分野融合による商品化に向け検討している。

Q12. NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて、計量標準や一般ユーザーがアクセスできるデータベース等の知的基盤の整備、標準化（業界標準を含む）策定に向けた活動、学会設立や大学での寄付講座の創設など、企業の直接的な経済活動とは別の活動を進められていますか。ある場合は、その具体的な内容をご記入下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q13. 特記事項

予想外の成果や人材育成効果（博士号取得、大学等への転籍など）、経済・社会への貢献（産業技術力強化、省エネルギー効果、環境負荷低減効果、地域社会貢献、顕著な学術成果、国の政策・施策への貢献など）がありましたら、その内容についてご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q14. NEDOや国への要望（新規プロジェクトの立案、補助制度の新設や見直し、法的環境整備、税制改正等を含む）がございましたら、ご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)

【簡易追跡調査票/企業3・5年目】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
終了後のテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

※上記のご担当者欄の一部に変更や訂正がある場合、該当する欄に新しい情報をご記入願います。また、別のご担当者を登録される場合は、当該研究・技術開発、及び貴機関内（外）における成果の利用展開等の内容について把握されている方をお願いいたします。

変更後の所属機関名	
変更後の所属部署	
変更後の役職	
変更後の氏名	
変更後の連絡先（郵便番号）	
変更後の連絡先（住所）	
変更後の電話番号	
変更後のFAX番号	
変更後のE-mail	

☆標記のNEDOプロジェクト終了後、一昨年度及び昨年度に、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて実施された研究や技術開発（以下、「研究・技術開発等」※）について、お伺い致します。※公的資金を得て実施している研究開発を含みます。

Q1. 前回の追跡調査で設定していただいた最終目標、最終目標に至るまでの各段階の達成予定時期のいずれかに変更のある場合は、変更後の最終目標及び最終目標に至るまでの各段階の予定をご記入願います。（注意）最終目標に変更が無く、達成予定時期についてのみ変更がある場合であっても、Q1-1の質問にもご回答下さい。

Q1-1. 貴機関が実施している研究・技術開発等が、最終的に目標とされる最終目標段階を選択して下さい。（単一選択）（※変更後を記入。）

1 研究段階  
4 上市段階

2 技術開発段階

3 製品化段階

回答欄

<ご参考>

前のご回答

Q1-2. 貴機関が実施している研究・技術開発等について、研究開発段階のイメージ例を参考にQ1-1最終目標段階に至るまでの各段階の予定時期をご記入願います。（注意）例えば、西暦20XX年度中に技術開発段階を終了し、その後、製品化段階に着手する予定の場合は、「2 技術開発段階：20XX」と西暦で記入。

研究段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>

前のご回答

技術開発段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

製品化段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

上市段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

【参考】研究開発段階のイメージ例

- 1 研究段階：活動の主体---研究開発部門。活動の内容---基礎的/要素的な研究（現象の新規性や性能の進歩性等について把握）。アウトプットイメージ---社内レポート、特許、論文等。
- 2 技術開発段階：活動の主体---研究開発部門。活動の内容---製品化/上市を視野に入れた研究（無償サンプル作成やユーザーへのマーケティング調査により、技術やコストの優位性、量産化技術の課題等について把握）。アウトプットイメージ---製品化/上市の判断材料となる研究結果等。
- 3 製品化段階：活動の主体---事業部門。活動の内容---製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認、試作機の製造、所管省庁/監督団体による販売承認/検査、製品を市場に投入するための設備投資の実施等）。アウトプットイメージ---有償サンプル、量産試作の実施、製造ライン設置、原価計算等。
- 4 上市段階：活動の主体---事業部門。活動の内容---市場での取引。アウトプットイメージ---製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売上発生等。

Q1-3. 以前に設定していただいた最終目標または達成予定時期を変更した場合は、その理由をご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q1-4. 最終目標、または達成予定時期の変更に至られた理由について、NEDOがサポート（継続プロジェクトの立案、提案公募事業等の情報提供、成果普及のための標準化活動、広報支援等）出来る点があれば、ご記入願います。場合によっては、NEDOから別途詳細をお伺いすることがございます。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q2. 当該研究・技術開発等の昨年度末時点の状況について、各段階のイメージ例を参考にもっとも当てはまる段階を選択してください。（単一選択）

- 1 研究段階
- 2 技術開発段階
- 3 製品化段階
- 4 上市段階
- 5 実施後中断又は中止※

回答欄  <ご参考>  
前回のご回答

※プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、プロジェクト終了後に研究・技術開発等を行っていたが、昨年度末時点でその取り組みを中断もしくは中止された場合「5実施後中断又は中止」を選択してください。

Q3. Q2で、「3製品化段階」、又は「4上市段階」を選択された場合は、次の項目についてもご回答下さい。

Q3-1. 開発した技術名を教えてください。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-2. 上記の技術を活用する製品（商品、サービス、プロセス等）をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-3. NEDOプロジェクトの成果は、Q3-2の製品にどのように活用されていますか。可能な範囲で具体的にご説明下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-4. 売上発生の有無について、いずれかを選択して下さい。

1 有

2 無

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-5. 利益発生の有無について、いずれかを選択して下さい。

1 有

2 無

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q4. 貴機関が実施されている研究・技術開発等について、貴機関における位置付けで、もっとも当てはまるものを選択して下さい。

- 1 (全)社として取り上げているテーマである
- 2 事業本部/技術開発本部/カンパニー等で取り上げているテーマである
- 3 部/研究所等で取り上げているテーマである
- 4 上記のいずれでもない
- 5 その他（具体的にご記入下さい）

記述欄

回答欄  <ご参考>  
前回のご回答

Q5. 貴機関が実施されている研究・技術開発等について、競合技術を有する他社（者）との現時点での関係で、もっとも当てはまるものを選択して下さい。

- 1 他機関と比較して圧倒的に進んでいる（もしくは貴機関のみが開発している）
- 2 他機関と比較して進んでいる
- 3 他機関と同等のレベルにある（競合する機関の中で平均レベル）
- 4 他機関と比較して遅れている
- 5 他機関と比較して圧倒的に遅れている

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

Q6. NEDOプロジェクト期間中もしくは終了後に、プロジェクトに参加した貴機関の研究者が、他機関へ転出したか否かについて、以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 転出はない              | 2 他の国内企業へ転出した        |
| 3 海外企業へ転出した          | 4 国内の大学や公的研究機関等へ転出した |
| 5 海外の大学や公的研究機関等へ転出した | 6 転出先は不明             |

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

《Q7～Q10について、一昨年度及び昨年度の実績をご記入願います。》

Q7. 貴機関が実施された研究・技術開発等に関連した査読付論文に関する質問です。

Q7-1. 一昨年度及び昨年度の発表件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q7-2. ジャーナル名、表題、発行年、巻、号、第一著者を教えてください。（論文（電子媒体）の添付でも結構です。）

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q8. 貴機関が実施された研究・技術開発等に関連した新聞掲載に関する質問です。

Q8-1. 一昨年度及び昨年度の掲載件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q8-2. 掲載された新聞名称、掲載日、記事の標題を教えてください。（可能な範囲でご記入願います。）

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q9. 貴機関が実施された研究・技術開発等に関連した受賞（表彰）に関する質問です。

Q9-1. 一昨年度及び昨年度の社外での受賞（表彰）件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q9-2. 上記の受賞（表彰）名称と、受賞（表彰）年度をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10. 派生技術や他製品への技術転用、もしくは他機関への技術移転など、NEDOプロジェクトの成果をプロジェクト終了後の当該研究開発テーマ以外で活用した事例はありますか。

1 ある

2 ない

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10-1. 「ある」場合、活用されているNEDOプロジェクトの成果とはどのようなものですか。【複数回答可】

1 開発・製造技術

2 評価・試験技術

3 科学的知見・データ

4 製作物（試作品等）

5 研究設備

6 その他

記述欄

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10-2. 上記のNEDOプロジェクトの成果の活用先は、以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

1 新製品の開発

2 既存製品の生産プロセスの効率化

3 既存製品（商品）の改良

4 新規研究開発テーマ（企画）の設定

5 既存事業や他分野に関する現象や因果関係（メカニズム）の解明

6 研究開発ツールや社内技術標準としての活用

7 人材育成を通じたノウハウの波及

8 その他

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10-3. 上記のNEDOプロジェクトの成果はどこで活用されていますか。【複数回答可】

1 プロジェクトに参加した研究者の所属部署

2 社内のお他部署

3 社外

4 その他

記述欄

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答



Q10-4. 上記のNEDOプロジェクトの成果はどのように活用されていますか。可能であれば、成果を活用して実施している研究開発テーマや製品名も含めてお教え下さい。また、社外で活用されている事例についても同様に可能な範囲でご記入ください。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

<例>●●の製造プロセスに使用され、従来より効率的な生産に寄与 / ●●の現象解明により、既存の●●事業に関する技術力向上に寄与 / 研究開発ツールとして使用され、●●分野の研究開発能力が向上 / 新たに●●の技術課題が抽出され、開発が進展 / 本プロジェクトに参加した研究員が、ノウハウを活かして●●の開発に貢献

Q11. プロジェクト参加期間中に、貴機関がNEDOから追加的に加速資金を得た場合に、お伺い致します。加速資金を得ていない場合は回答不要です。

Q11-1. 加速資金を得ることにより、国際競争上の優位性の確保や、製品化・上市、あるいは新たな発見へ寄与するなど、貴機関において具体的な効果がありましたらご記入下さい。なお、複数回にわたり得ている場合、それぞれについてお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

<例>加速資金を得ることにより、当初○○技術に予定していた研究開発期間を1年以上大幅に短縮することができた。その結果、競合他社との優位性を保つことが出来、現在は従来に比べ撮影スピード2倍（世界一）の○○を平成○○年○月より販売を開始している。また、○○技術は、NEDOプロジェクトで医療機器への応用展開を進めるなど異分野融合による商品化に向け検討している。

Q12. NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて、計量標準や一般ユーザーがアクセスできるデータベース等の知的基盤の整備、標準化（業界標準を含む）策定に向けた活動、学会設立や大学での寄付講座の創設など、企業の直接的な経済活動とは別の活動を進められていますか。ある場合は、その具体的な内容をご記入下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q13. 特記事項

予想外の成果や人材育成効果（博士号取得、大学等への転籍など）、経済・社会への貢献（産業技術力強化、省エネルギー効果、環境負荷低減効果、地域社会貢献、顕著な学術成果、国の政策・施策への貢献など）がありましたら、その内容についてご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q14. NEDOや国への要望（新規プロジェクトの立案、補助制度の新設や見直し、法的環境整備、税制改正等を含む）がございましたら、ご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)

【簡易追跡調査票/大学等1年目】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
終了後のテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

※上記のご担当者欄の一部に変更や訂正がある場合、該当する欄に新しい情報をご記入願います。また、別のご担当者を登録される場合は、当該研究・技術開発、及び貴機関内（外）における成果の利用展開等の内容について把握されている方をお願いいたします。

変更後の所属機関名	
変更後の所属部署	
変更後の役職	
変更後の氏名	
変更後の連絡先（郵便番号）	
変更後の連絡先（住所）	
変更後の電話番号	
変更後のFAX番号	
変更後のE-mail	

☆標記のNEDOプロジェクト終了後、昨年度に、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて実施された研究や技術開発（以下、「研究・技術開発等」※）について、お伺い致します。※公的資金を得て実施している研究開発を含みます。

Q1. 昨年度一年間、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用した研究・技術開発等を継続されていますか。

1 はい

2 いいえ

回答欄

<ご参考>

前回の回答

Q1-1. 「2 いいえ」を選択された場合は、研究・技術開発等を継続されていない理由について簡潔にご記入願います。

記述欄

<ご参考>

前回の回答

《Q2～Q4について、昨年度の実績をご記入願います。》

Q2. 当該研究・技術開発等に関連した特許件数に関する質問です。

Q2-1. 昨年度の出願件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回の回答

Q2-2. 昨年度の登録件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q3. 当該研究・技術開発等に関連し発表した査読付論文に関する質問です。

Q3-1. 昨年度の査読付き論文の発表件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q3-2. ジャーナル名、表題、発行年、巻、号、第一著者をお教え下さい。(論文(電子媒体)の添付でも結構です。)

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q4. 当該研究・技術開発等に関連した受賞(表彰)に関する質問です。

Q4-1. 昨年度の受賞(表彰)件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q4-2. 上記の受賞(表彰)名称と、受賞(表彰)年度をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

《Q5～Q8について、貴機関で実施された昨年度までの研究・技術開発等の状況についてご記入願います。》

Q5. 当該研究・技術開発等に関する企業等への技術移転の状況に関する質問です。

Q5-1. 昨年度までに当該研究・技術開発等の成果を企業等へ技術移転されましたか。

1 はい

2 いいえ

<ご参考>

回答欄

前回のご回答

Q5-2. 「1 はい」を選択された場合、実施された技術移転の形態以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- 1 ノウハウを企業へライセンス等により提供
- 2 将来、企業における権利化を想定して、企業に技術を譲渡
- 3 将来、共同での権利化を想定して、企業と技術を共有
- 4 貴機関(または技術移転機関)において単独で権利化し、企業へのライセンスまたは譲渡
- 5 (大学、独法、国公立の研究機関発の)ベンチャー企業立ち上げ
- 6 その他(具体的にご記入下さい。なお、企業に対する技術指導等を含みます。)

記述欄

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q5-3. Q5-2でご回答頂いた技術移転について、ノウハウを提供した企業にて製品化され売上が出ている、大学発ベンチャーとして世の中の注目を得ているなど特筆すべき成果がありましたら、その技術移転の時期、具体的内容をご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q6. NEDOプロジェクトを契機に、企業等への就職、あるいは、企業からの研究生受け入れなど、企業等との人材交流がございましたら、具体的にご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q7. NEDOプロジェクトで得られた知見や成果を利用して、経済・社会への貢献（産業技術力強化、省エネルギー効果、環境負荷低減効果、地域社会貢献、国の政策・施策への貢献など）がございましたら、具体的にご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q8. NEDOプロジェクトを契機として、当該研究・技術開発等の関連する学術分野に対して何らかの影響を与えていること（関連するテーマで研究会・学会の発足、講座・学科の創設等）がございましたら、具体的にご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q9. 参加されたプロジェクトの技術分野において、NEDOとして今後さらに取組むべき課題はありますか。

1 ある

2 ない

3 わからない

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q9-1. 「1 ある」を選択された場合は、それはどのような内容ですか。可能な範囲で具体的にご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10. プロジェクト参加期間中に、貴機関がNEDOから追加的に加速資金を得た場合に、お伺い致します。加速資金を得ていない場合は回答不要です。

Q10-1. 加速資金を得ることにより、国際競争上の優位性の確保や、製品化・上市、あるいは新たな発見へ寄与するなど、貴機関において具体的な効果がありましたらご記入下さい。なお、複数回にわたり得ている場合、それぞれについてお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

例) 加速資金を得ることにより、当初〇〇技術に予定していた研究開発期間を1年以上大幅に短縮することができた。その結果、〇〇社との共同研究により、現在は従来に比べ撮影スピード2倍(世界一)の〇〇を平成〇〇年〇月より販売を開始している。また、〇〇技術は、NEDOプロジェクトで医療機器への応用展開を進めるなど異分野融合による商品化に向け検討している。

Q11. NEDOや国への要望(新規プロジェクトの立案、補助制度の新設や見直し、法的環境整備、税制改正等を含む)がございましたら、ご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)

【簡易追跡調査票/大学等3・5年目】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
終了後のテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

※上記のご担当者欄の一部に変更や訂正がある場合、該当する欄に新しい情報をご記入願います。また、別のご担当者を登録される場合は、当該研究・技術開発、及び貴機関内（外）における成果の利用展開等の内容について把握されている方をお願いいたします。

変更後の所属機関名	
変更後の所属部署	
変更後の役職	
変更後の氏名	
変更後の連絡先（郵便番号）	
変更後の連絡先（住所）	
変更後の電話番号	
変更後のFAX番号	
変更後のE-mail	

☆標記のNEDOプロジェクト終了後、一昨年度及び昨年度に、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて実施された研究や技術開発（以下、「研究・技術開発等」※）について、お伺い致します。※公的資金を得て実施している研究開発を含みます。

Q1. 昨年度一年間、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用した研究・技術開発等を継続されていますか。

1 はい

2 いいえ

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

Q1-1. 「2 いいえ」を選択された場合は、研究・技術開発等を継続されていない理由について簡潔にご記入願います。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

《Q2～Q4について、一昨年度及び昨年度の実績をご記入願います。》

Q2. 当該研究・技術開発等に関連した特許件数に関する質問です。

Q2-1. 一昨年度及び昨年度の出願件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q2-2. 一昨年度及び昨年度の登録件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q3. 当該研究・技術開発等に関連し発表した査読付論文に関する質問です。

Q3-1. 一昨年度及び昨年度の発表件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q3-2. ジャーナル名、表題、発行年、巻、号、第一著者をお教え下さい。(論文(電子媒体)の添付でも結構です。)

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q4. 当該研究・技術開発等に関連した受賞(表彰)に関する質問です。

Q4-1. 一昨年度及び昨年度の受賞(表彰)件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q4-2. 上記の受賞(表彰)名称と、受賞(表彰)年度をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

《Q5～Q8について、貴機関で実施された昨年度までの研究・技術開発等の状況についてご記入願います。》

Q5. 当該研究・技術開発等に関する企業等への技術移転の状況に関する質問です。

Q5-1. 昨年度までに当該研究・技術開発等の成果を企業等へ技術移転されましたか。

1 はい

2 いいえ

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

Q5-2. 「1 はい」を選択された場合、実施された技術移転の形態以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- 1 ノウハウを企業へライセンス等により提供
- 2 将来、企業における権利化を想定して、企業に技術を譲渡
- 3 将来、共同での権利化を想定して、企業と技術を共有
- 4 貴機関(または技術移転機関)において単独で権利化し、企業へのライセンスまたは譲渡
- 5 (大学、独法、国公立の研究機関発の)ベンチャー企業立ち上げ
- 6 その他(具体的にご記入下さい。なお、企業に対する技術指導等を含みます。)

記述欄

回答欄

<ご参考>

前回のご回答



Q5-3. Q5-2でご回答頂いた技術移転について、ノウハウを提供した企業にて製品化され売上が出ている、大学発ベンチャーとして世の中の注目を得ているなど特筆すべき成果がありましたら、その技術移転の時期、具体的内容をご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q6. NEDOプロジェクトを契機に、企業等への就職、あるいは、企業からの研究生受け入れなど、企業等との人材交流がございましたら、具体的にご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q7. NEDOプロジェクトで得られた知見や成果を利用して、経済・社会への貢献（産業技術力強化、省エネルギー効果、環境負荷低減効果、地域社会貢献、国の政策・施策への貢献など）がございましたら、具体的にご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q8. NEDOプロジェクトを契機として、当該研究・技術開発等の関連する学術分野に対して何らかの影響を与えていること（関連するテーマで研究会・学会の発足、講座・学科の創設等）がございましたら、具体的にご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q9. 参加されたプロジェクトの技術分野において、NEDOとして今後さらに取組むべき課題はありますか。

1 ある

2 ない

3 わからない

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q9-1. 「1 ある」を選択された場合は、それはどのような内容ですか。可能な範囲で具体的にご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q10-1. 加速資金を得ることにより、国際競争上の優位性の確保や、製品化・上市、あるいは新たな発見へ寄与するなど、貴機関において具体的な効果がありましたらご記入下さい。なお、複数回にわたり得ている場合、それぞれについてお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

例) 加速資金を得ることにより、当初〇〇技術に予定していた研究開発期間を1年以上大幅に短縮することができた。その結果、〇〇社との共同研究により、現在は従来に比べ撮影スピード2倍(世界一)の〇〇を平成〇〇年〇月より販売を開始している。また、〇〇技術は、NEDOプロジェクトで医療機器への応用展開を進めるなど異分野融合による商品化に向け検討している。

Q11. NEDOや国への要望(新規プロジェクトの立案、補助制度の新設や見直し、法的環境整備、税制改正等を含む)がございましたら、ご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)

【簡易追跡調査票（NEDO-PJ対応事業 上市 用）】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
終了後のテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

※上記のご担当者欄の一部に変更や訂正がある場合、該当する欄に新しい情報をご記入願います。また、別のご担当者を登録される場合は、当該研究・技術開発、及び貴機関内（外）における成果の利用展開等の内容について把握されている方をお願いいたします。

変更後の所属機関名	
変更後の所属部署	
変更後の役職	
変更後の氏名	
変更後の連絡先（郵便番号）	
変更後の連絡先（住所）	
変更後の電話番号	
変更後のFAX番号	
変更後のE-mail	

Q1. 前回の追跡調査で、上市・製品化した技術／製品の内容について伺いましたが、その後の状況についてお伺い致します。

Q1-1. 上市・製品化された技術／製品の昨年度末時点の状況について、研究開発段階のイメージ例を参考にもっとも当てはまる段階を選択してください。（単一選択）

- |        |              |         |
|--------|--------------|---------|
| 1 研究段階 | 2 技術開発段階     | 3 製品化段階 |
| 4 上市段階 | 5 実施後中断又は中止※ |         |

<ご参考>

回答欄

前回のご回答

《「3 製品化段階」、「4 上市段階」を選択された場合、Q3にお進み下さい。》

【参考】研究開発段階のイメージ例

1 研究段階：活動の主体---研究開発部門。活動の内容---基礎的/要素的な研究（現象の新規性や性能の進歩性等について把握）。アウトプットイメージ---社内レポート、特許、論文等。

2 技術開発段階：活動の主体---研究開発部門。活動の内容---製品化/上市を視野に入れた研究（無償サンプル作成やユーザーへのマーケティング調査により、技術やコストの優位性、量産化技術の課題等について把握）。アウトプットイメージ---製品化/上市の判断材料となる研究結果等。

3 製品化段階：活動の主体---事業部門。活動の内容---製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認、試作機の製造、所管省庁/監督団体による販売承認/検査、製品を市場に投入するための設備投資の実施等）。アウトプットイメージ---有償サンプル、量産試作の実施、製造ライン設置、原価計算等。

4 上市段階：活動の主体---事業部門。活動の内容---市場での取引。アウトプットイメージ---製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売上発生等。

※プロジェクト終了後得られた知見や成果を利用して上市・製品化した、昨年度末時点でその取り組みを中断もしくは中止された場合「5 実施後中断又は中止」を選択して下さい。

Q2. Q1-1で「1 研究段階」、「2 技術開発段階」もしくは「5 実施後中断又は中止」を選択された場合、以下についてご回答ください。

Q2-1. 「上市段階」・「製品化段階」から、「研究段階」・「技術開発段階」もしくは「実施後中断又は中止」に至られた理由をご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q2-2. 上記でご回答いただいた理由について、NEDOがサポート（継続プロジェクトの立案、提案公募事業等の情報提供、成果普及のための標準化活動、広報支援等）できる点があれば、ご記入願います。場合によっては、NEDOから別途詳細をお伺いすることがございます。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3. 過去の追跡調査で設定していただいた最終目標、最終目標に至るまでの各段階の達成予定時期のいずれかに変更のある場合は、変更後の最終目標及び最終目標に至るまでの各段階の予定をご記入願います。（注意）最終目標に変更が無く、達成予定時期についてのみ変更がある場合であっても、Q3-1の質問にもご回答下さい。

Q3-1. 貴機関が実施している研究・技術開発等が、最終的に目標とされる最終目標段階を選択して下さい。（単一選択）（※変更後を記入。）

1 研究段階  
4 上市段階

2 技術開発段階

3 製品化段階

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q3-2. 貴機関が実施している研究・技術開発等について、研究開発段階のイメージ例を参考にQ3-1最終目標段階に至るまでの各段階の予定時期をご記入願います。（注意）例えば、西暦20XX年度中に技術開発段階を終了し、その後、製品化段階に着手する予定の場合は、「2 技術開発段階：20XX」と西暦で記入。

研究段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

技術開発段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

製品化段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

上市段階の達成予定時期

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q4. Q1-1で「3製品化段階」もしくは「4上市段階」を選択された場合、以下についてご回答下さい。

Q4-1. 上市・製品化において開発された技術名について、変更がある場合はお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q4-2. 上市・製品化された製品（商品）名について、変更がある場合はお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q4-3. 上市・製品化した技術／製品の一昨年度の実績に関する質問です。

a. 一昨年度の売上発生の有無について、いずれかを選択して下さい。

1 有

2 無

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

b. 一昨年度に売上がある場合は、実績額をお教え下さい。（単位：円）

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

c. 一昨年度の利益発生の有無について、いずれかを選択して下さい。

1 有

2 無

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

d. 一昨年度に利益が発生している場合は、実績額をお教え下さい。（単位：円）

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q4-4. 上市・製品化した技術／製品の昨年度の実績に関する質問です。

a. 昨年度の売上発生の有無について、いずれかを選択して下さい。

1 有

2 無

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

b. 昨年度に売上がある場合は、実績額をお教え下さい。（単位：円）

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

c. 昨年度の利益発生の有無について、いずれかを選択して下さい。

1 有

2 無

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

d. 昨年度に利益が発生している場合は、実績額をお教え下さい。(単位 : 円)

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q4-5. 新たな雇用創出(含む関連他社)あるいは雇用維持等の効果がありましたか。

1 効果がある

2 効果はない

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q4-6. 「効果がある」場合は、具体的内容をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q5. 貴機関が開発された技術について、競合技術を有する他社(者)との現時点での関係について、もっとも当てはまるものを選択して下さい。

1 他機関と比較して圧倒的に進んでいる(もしくは貴機関のみが開発している)

2 他機関と比較して進んでいる

3 他機関と同等のレベルにある(競合する機関の中で平均レベル)

4 他機関と比較して遅れている

5 他機関と比較して圧倒的に遅れている

回答欄

<ご参考>  
前回のご回答

《Q6～Q9について、一昨年度及び昨年度の2年分の実績をご記入願います。》

Q6. 貴機関が上市・製品化された技術/製品に関連した査読付論文に関する質問です。

Q6-1. 一昨年度及び昨年度の発表件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q6-2. ジャーナル名、表題、発行年、巻、号、第一著者を教えてください。(論文(電子媒体)の添付でも結構です。)

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q7. 貴機関が上市・製品化された技術／製品に関連した新聞掲載に関する質問です。

Q7-1. 一昨年度及び昨年度の掲載件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q7-2. 掲載された新聞名称、掲載日、記事の標題を教えてください。(可能な範囲でご記入願います。)

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q8. 貴機関が上市・製品化された技術／製品に関連した受賞（表彰）に関する質問です。

Q8-1. 一昨年度及び昨年度の社外での受賞（表彰）件数をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q8-2. 上記の受賞（表彰）名称と、受賞（表彰）年度をお教え下さい。

記述欄

<ご参考>

前回のご回答

Q9. 派生技術や他製品への技術転用、もしくは他機関への技術移転など、NEDOプロジェクトの成果をプロジェクト終了後の当該研究開発テーマ以外で活用した事例はありますか。

1 ある

2 ない

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

Q9-1. 「ある」場合、活用されているNEDOプロジェクトの成果とはどのようなものですか。【複数回答可】

1 開発・製造技術

2 評価・試験技術

3 科学的知見・データ

4 製作物（試作品等）

5 研究設備

6 その他

記述欄

回答欄

<ご参考>

前回のご回答

Q9-2. 上記のNEDOプロジェクトの成果の活用先は、以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

1 新製品の開発

2 既存製品の生産プロセスの効率化

3 既存製品（商品）の改良

4 新規研究開発テーマ（企画）の設定

5 既存事業や他分野に関する現象や因果関係（メカニズム）の解明

- 6 研究開発ツールや社内技術標準としての活用
- 7 人材育成を通じたノウハウの波及
- 8 その他

回答欄

<ご参考>  
 前回のご回答

Q9-3. 上記のNEDOプロジェクトの成果はどこで活用されていますか。【複数回答可】

- 1 プロジェクトに参加した研究者の所属部署      2 社内のお他部署
  - 3 社外
  - 4 その他
- 記述欄

回答欄

<ご参考>  
 前回のご回答

Q9-4. 上記のNEDOプロジェクトの成果が派生的に活用されたことによる効果について、可能であれば、成果が活用されている製品や研究開発テーマも含めてお教え下さい。また、社外で活用されている事例についても同様に可能な範囲でご記入下さい。

記述欄

<ご参考>  
 前回のご回答

<例> ●●の製造プロセスに使用され、従来より効率的な生産に寄与 / ●●の現象解明により、既存の●●事業に関する技術力向上に寄与 / 研究開発ツールとして使用され、●●分野の研究開発能力が向上 / 新たに●●の技術課題が抽出され、開発が進展 / 本プロジェクトに参加した研究員が、ノウハウを活かして●●の開発に貢献

Q10. プロジェクト参加期間中に、貴機関がNEDOから追加的に加速資金を得た場合に、お伺い致します。加速資金を得ていない場合は回答不要です。

Q10-1. 加速資金を得ることにより、国際競争上の優位性の確保や、製品化・上市、あるいは新たな発見へ寄与するなど、貴機関において具体的な効果がありましたらご記入下さい。なお、複数回にわたり得ている場合、それぞれについてお教え下さい。

記述欄

<ご参考>  
 前回のご回答

<例> 加速資金を得ることにより、当初○○技術に予定していた研究開発期間を1年以上大幅に短縮することができた。その結果、競合他社との優位性を保つことが出来、現在は従来に比べ撮影スピード2倍（世界一）の○○を平成○○年○月より販売を開始している。また、○○技術は、NEDOプロジェクトで医療機器への応用展開を進めるなど異分野融合による商品化に向け検討している。



Q11. NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用して、貴機関にて、計量標準や一般ユーザーがアクセスできるデータベース等の知的基盤の整備、標準化（業界標準を含む）策定に向けた活動、学会設立や大学での寄付講座の創設など、企業の直接的な経済活動とは別の活動を進められていますか。ある場合は、その具体的な内容をご記入下さい。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q12. 特記事項

予想外の成果や人材育成効果（博士号取得、大学等への転籍など）、経済・社会への貢献（産業技術力強化、省エネルギー効果、環境負荷低減効果、地域社会貢献、顕著な学術成果、国の政策・施策への貢献など）がありましたら、その内容についてご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

Q13. NEDOや国への要望（新規プロジェクトの立案、補助制度の新設や見直し、法的環境整備、税制改正等を含む）がございましたら、ご記入願います。

記述欄

<ご参考>  
前回のご回答

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)

【詳細追跡調査（ヒアリング）票（NEDO-PJ対応事業 上市、製品化段階 用）】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
終了後のテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

【1. プロジェクト参加時点の状況】

Q1. NEDOプロジェクト参加開始時点で、上市・製品化を想定していましたか。

1 はい

2 いいえ

回答欄

Q1-1. 「1 はい」を選択された場合は、プロジェクト参加開始時点で想定されていた上市または製品化の時期（年度）を西暦でお教え下さい。

記述欄

Q1-2. NEDOプロジェクトの実施にあたって、研究開発部門に加えて事業部門や事業化担当者（営業部門も含む）が初めて関与した時期をお教え下さい。

- 1 プロジェクト参加以前
- 2 プロジェクト参加開始時点（提案書作成、参加決定等）
- 3 プロジェクト前半
- 4 プロジェクト中間時点（中間評価への対応等）
- 5 プロジェクト後半
- 6 プロジェクト終了後
- 7 これまでに事業部門の関与はない

回答欄

Q2. NEDOプロジェクトで貴機関が行った技術開発は、プロジェクト参加開始時点において、貴機関を含めて何機関くらいで取組まれていましたか。またそのうち、国内機関は何機関程度でしたか。それぞれおおよその数をお教え下さい。

a. 全体

記述欄

b. うち、国内機関

記述欄

Q2-1. 上記の内、当該NEDOプロジェクトに参加した機関は貴機関を含めて何機関でしたか。

記述欄

Q3. NEDOプロジェクト参加開始時点において、当該プロジェクトに関する貴機関の技術開発力（技術ポテンシャル）は、他機関（他社）と比較してどの程度でしたか。

- 1 他機関と比較して圧倒的に進んでいた（もしくは貴機関のみが開発していた）
- 2 他機関と比較して進んでいた
- 3 他機関と同等のレベルにあった（競合する機関の中で平均レベル）
- 4 他機関と比較して遅れていた
- 5 他機関と比較して圧倒的に遅れていた

回答欄

Q4. NEDOプロジェクトへの参加開始時点における技術シーズは、どのようにして開発されましたか。【複数回答可】

- 1 参加開始時点では技術シーズはなく、NEDOプロジェクト実施中に開発した
- 2 NEDOプロジェクト参加前に、自社費用にて開発した
- 3 NEDOプロジェクト参加前に、公的資金を用いて開発した
- 4 NEDOプロジェクト参加前に、他機関から購入もしくはライセンスを受けた
- 5 その他  
記述欄

回答欄

Q5. NEDOプロジェクトへの参加の経緯としてあてはまるものは何ですか。【複数回答可】

- 1 経営陣による決定・指示
- 2 申請者（研究代表者）の上司（部門長など）による決定・指示
- 3 申請者（研究代表者）による自主的な参加（申請者が社内を説得）
- 4 他部門（事業部門など）からの誘い
- 5 民間他機関からの誘い
- 6 政府機関からの誘い
- 7 その他  
記述欄

回答欄

Q6. NEDOプロジェクト参加開始時点（もしくは直前）における、当該技術開発の貴機関内での位置付けはどのようなものでしょうか。

- 1 組織の戦略上不可欠と判断された技術開発
- 2 組織の戦略上重要と判断された技術開発
- 3 組織の戦略上特に重要と判断されてはいなかった技術開発
- 4 組織の戦略上ほとんど注目されていなかった技術開発
- 5 組織の戦略上不必要と判断されていた技術開発

回答欄

Q6-1. NEDOプロジェクト参加開始以前における、当該技術開発に対する貴機関内の支援状況（人的支援、金銭的支援、時間的支援）はどの程度でしたか。

- 1 全面的な支援を受けていた
- 2 比較的多くの支援を受けていた
- 3 平均的な支援を受けていた
- 4 支援は不十分であった
- 5 全く支援を受けられなかった
- 6 まだ開発が始まっていなかった（NEDOプロジェクトで開発が始まった）

回答欄

Q7. NEDOプロジェクト参加開始時点における、当該技術の重要性や意義に関する社会的認知の程度は如何ですか。

- 1 既に社会的に重要性や意義が十分に認知され、多くの機関が注目していた
- 2 重要性や意義が認知され始めており、複数の機関が注目していた
- 3 重要性や意義はまだ認知されていなかった
- 4 技術そのものの存在がまだ十分に認知されていなかった

回答欄

Q8. NEDOプロジェクトへの参加開始時点で、プロジェクトにより得られると期待したメリットは何でしたか。

a. 技術的課題の克服

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

b. コスト的課題の克服

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

c. 技術開発・製品開発のスピードアップ

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

d. 他機関との人的・組織的ネットワークの形成

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

e. 共同研究による他機関の技術の獲得

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

f. 他機関との共同による技術開発

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

g. リスクの分散（ハイリスクの開発へ取組むことができる）

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

h. 研究開発資金の確保

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

i. 人材育成（参加した研究者の質的向上）

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

j. 技術標準化の促進

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

k. NEDOプロジェクトへの参加による社外での知名度向上

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

l. NEDOプロジェクトへの参加による社内での正当性確保

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

Q9. 以下の「実際に得られた現時点でのプロジェクトの成果」について、プロジェクト参加当初に想定した目標の達成度という観点から主観的に評価して、お答え下さい。

a. 技術的課題の克服

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  
3 どちらとも言えない  
5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった  
4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

b. コスト的課題の克服

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  
3 どちらとも言えない  
5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった  
4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

c. 技術開発・製品開発のスピードアップ

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  
3 どちらとも言えない  
5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった  
4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

d. 他機関との人的・組織的ネットワークの形成

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

e. 共同研究による他機関の技術の獲得

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

f. 他機関との共同による技術開発

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

g. ハイリスクな研究開発の実施

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

h. 人材育成（参加した研究者の質的向上）

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

i. 技術標準化の促進

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

j. 社外での知名度向上

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

k. 社内における開発活動の正当性確保

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

Q10. NEDOプロジェクトに参加したメンバーの人数についての質問です。全ておおよその人数でお答えください。

Q10-1. 本プロジェクトの開始から終了まで一貫して参加した中心メンバーは何人程度ですか。

記述欄

Q10-2. 前問でお答え頂いた中心メンバーを含め、本プロジェクトには、平均して常時何人くらいのメンバーが参加していましたか。

記述欄

Q10-3. 事業化を担当するメンバー（たとえば社内の事業部から参加するメンバー）は本プロジェクトに何人参加しましたか。プロジェクト参加開始時点、中間時点、終盤時点、プロジェクト終了後に分けて、それぞれおおよその人数をお答えください。

a. プロジェクト開始時点のおおよその人数

記述欄

b. 中間時点のおおよその人数

記述欄

c. プロジェクト終盤時点のおおよその人数

記述欄

d. プロジェクト終了後のおおよその人数

記述欄

Q11. プロジェクトメンバーの選出はどのように行われましたか。当てはまるものをその度合いの強い順に、左端の回答欄から記入して下さい。

- 1 貴機関の研究リーダーによる選出
- 2 メンバーの自主的参加（公募など）
- 3 組織の上司（部門長など）による指名
- 4 トップ経営陣による指名
- 5 社内の開発部隊がそのまま参加したので特に選出はない
- 6 その他

記述欄

回答欄

## 【2. プロジェクト活動について】

Q1. 貴機関は当該NEDOプロジェクトにどのような形で参加されていましたか。

- 1 集中研に参加し、実質的に他機関と共同開発
- 2 集中研に参加したが、実質的には自機関に持ち帰って単独開発
- 3 集中研には参加しなかったが、実質的には他機関と共同開発
- 4 集中研に参加せず、実質的に単独で開発

回答欄

Q2. プロジェクト活動に関する以下の記述に関して、お答下さい。

a. プロジェクト実施にあたっての責任の所在が明確であり、また強力なリーダーシップを有するリーダーが存在した

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

b. 研究部門と事業部門を橋渡し、または研究から実用化まで担当するキーパーソンが存在した

1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

3 どちらとも言えない

回答欄

c. プロジェクト期間中、貴機関の他部門の人々と頻繁なやり取りを行った

1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

3 どちらとも言えない

回答欄

d. プロジェクト期間中、他機関のメンバーと頻繁なやり取りを行った

1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

3 どちらとも言えない

回答欄

e. プロジェクト期間中、貴機関の組織から継続的な支援・協力（人的、金銭的）を受けることができた

1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

3 どちらとも言えない

回答欄

f. プロジェクト期間中に、技術面または事業面で他機関との連携を行った

1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

3 どちらとも言えない

回答欄

g. プロジェクト期間中からユーザーニーズを反映して開発目標を設定していた

1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

3 どちらとも言えない

回答欄

Q3. 以下の「技術動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による技術動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

b. 社内部門（研究企画など）による技術動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

c. プロジェクトメンバーによる技術動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄



Q4. 以下の「市場動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関を通じた市場動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

b. 社内部門（企画・営業・マーケティングなど）による市場動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

c. プロジェクトメンバーによる市場動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

d. プロジェクトメンバーによる顧客への直接的な接触

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

Q5. 以下の「コスト目標の設定」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による調査を参考にしてコスト目標を設定した

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

b. 社内部門（企画・営業・マーケティング・資材・購買など）の協力を得てコスト目標を設定した

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

c. プロジェクトメンバーが共同でコスト目標を設定した

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

d. プロジェクトリーダーもしくは一部のメンバーがコスト目標を設定し、メンバーで共有した

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

Q6. 以下の「特許動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による特許動向調査を実施した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的にいった   |             |

回答欄

b. 社内部門（知財部など）の協力を得て知財戦略を策定した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的にいった   |             |

回答欄

c. プロジェクトメンバーが自主的に知財動向を調査して知財戦略を策定した

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的にいった   |             |

回答欄

Q7. NEDOプロジェクトの期間中に、NEDO、プロジェクトリーダーまたはNEDOが組織した委員会から、以下の選択肢に記載された活動を行うように指導・指示は行われましたか。【複数回答可】

- |          |          |            |
|----------|----------|------------|
| 1 技術動向調査 | 2 市場動向調査 | 3 コスト目標の設定 |
| 4 特許動向調査 |          |            |

回答欄

### 【3. 上市・製品化のプロセス】

Q1. プロジェクト期間中および終了時点において、当初の想定に反して起きたことに関して、お答えください。【複数回答可】

Q1-1. プロジェクト期間中

- 1 新たな技術的障害が判明した
- 2 想定外の優れた競合技術が出現した
- 3 予想外に景気が悪化した
- 4 想定したユーザーニーズが存在しなかった、または変化していた
- 5 新技術の導入コストの回収が難しかった
- 6 原料の安定確保が困難であった
- 7 組織における事業戦略が転換され技術開発の方向性と乖離した
- 8 研究開発投資の優先順位が下がった
- 9 優れた知見をもった研究者が退職した

回答欄

Q1-2. これらの想定に反して起きたことに対して、どのように対応されましたか。また、NEDO、プロジェクトリーダーまたはNEDOが組織した委員会等から有効な助言を得ていれば、その内容をお教え下さい。

記述欄

Q1-3. プロジェクト終了時点～現在

- 1 新たな技術的障害が判明した
- 2 想定外の優れた競合技術が出現した

- 3 予想外に景気が悪化した
- 4 想定したユーザーニーズが存在しなかった、または変化していた
- 5 新技術の導入コストの回収が難しかった
- 6 原料の安定確保が困難であった
- 7 組織における事業戦略が転換され技術開発の方向性と乖離した
- 8 研究開発投資の優先順位が下がった
- 9 優れた知見をもった研究者が退職した

回答欄

Q1-4. これらの想定に反して起きたことに対して、どのように対応されましたか（または対応される予定ですか）。また、NEDOがサポートできる点があれば、その内容をお教え下さい。

記述欄

Q2. 現時点における、当該技術分野における貴機関の特許ポジション（最も競争力のある他機関と比較した場合の貴機関の特許上の優位性）を評価してください。

- 1 かなり劣位
- 2 劣位
- 3 他機関と同等
- 4 優位
- 5 かなり優位

回答欄

Q3. 現時点で、当該技術・製品を開発している企業は、貴機関を含めて何機関くらいですか。またそのうち、国内機関は何機関くらいですか。それぞれおおよその数をお答えください。

a. 全体

記述欄

b. うち、国内機関

記述欄

Q3-1. 上記の内、当該NEDOプロジェクトに参加した機関は貴機関を含めて何機関でしたか。

記述欄

Q4. プロジェクト活動が貴機関における現時点の人的・金銭的投資配分に与えた影響に関して、お答え下さい。

a. 組織内における、当該研究開発分野の人員配分

- 1 大幅に減った
- 2 減った
- 3 変化なし
- 4 増えた
- 5 大幅に増えた

回答欄

b. 組織内における、当該研究開発分野への研究開発費配分

- 1 大幅に減った
- 2 減った
- 3 変化なし
- 4 増えた
- 5 大幅に増えた

回答欄

c. 組織内における、当該技術の事業化に関する投資配分

- 1 大幅に減った
- 2 減った
- 3 変化なし
- 4 増えた
- 5 大幅に増えた

回答欄

Q5. NEDOプロジェクト活動が貴機関の組織にどのような影響を与えましたか。【複数回答可】

- 1 当該研究開発に対応する新たな部署が設置された
- 2 当該研究と関連する研究開発プロジェクトが社内で立ち上がった
- 3 新たな事業部門が設置された
- 4 新たな社内ベンチャーが生まれた
- 5 新たに他社との合弁会社が設立された (設立された場合、数を記述欄にご記入ください)  
記述欄
- 6 貴機関での新たな雇用創出・維持につながった

回答欄

Q5-1. 上記で選択された項目について、具体的な内容をお教え下さい。

記述欄

Q6. NEDOプロジェクト終了後、その成果を活用し実用化に向けた研究開発を継続する意思決定をするにあたって、重要な要因は何でしたか。具体的にその内容をお教え下さい。

記述欄

Q7. 上市・製品化段階に至った製品（商品、サービス、プロセス等）の性質はどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- 1 従来、市場に無かったもの（新たな市場を切り開いたもの）
- 2 既存の市場において、世界最高水準にあたるもの
- 3 既存製品の性能や機能を格段に向上させたもの
- 4 ニッチ市場型のもの（隙間産業、隙間市場に展開するもの）
- 5 プロセスイノベーションにあたるもの（コスト削減や低価格を実現したもの）
- 6 その他

記述欄

回答欄

Q8. 貴機関の事業にとって、当該製品（技術）の位置付けは、どのようなものでしょうか。

- 1 新規事業の展開を図るもの
- 2 既存事業の強化を図るもの
- 3 その他

記述欄

回答欄

Q9. 貴機関にて、プロジェクト終了後に上市・製品化に至った要因・理由について、詳細にご記入下さい。（技術上の課題克服、ユーザーニーズの反映、社内体制の構築、競合優位性の確保、市場の将来性を見極め、などの観点から、これがあつたから上市・製品化に至つたと考えられる要因について、なぜその要因を実現できたのか、どのように関係者が行動したのか、可能な範囲で具体的にお教え下さい。） 頂いたご回答を踏まえ、NEDOでは今後の新規プロジェクトの企画・立案・運営に活かして参りたいと考えていますのでご協力の程、お願いいたします。

記述欄

Q9-1. 上記の中でも、上市・製品化を達成するうえで特に重要だつたと考えられる最大の要因は何ですか。

記述欄

Q10. 製品化段階または上市段階に至った製品（商品、サービス、プロセス等）の状況について、お答え下さい。

Q10-1. 昨年1年間の売上高、売上数量について、支障のない範囲でお答え下さい。

a. 売上高（単位：億円／千万円／百万円／千円）

記述欄

b. 売上数量（単位）

記述欄

Q10-2. 売上に関する今後の見通しは如何ですか。

- 1 増加する見通し                      2 減少する見通し                      3 横這いの見通し  
4 その他  
記述欄

回答欄

Q10-3. 売上に関する最終的な目標を支障のない範囲でお答え下さい。

a. 売上高（単位：億円／千万円／百万円／千円）

記述欄

b. 売上数量（単位）

記述欄

Q10-4. 売上に関する最終的な目標の達成見込み時期は西暦何年頃ですか。可能な範囲でお答え下さい。

記述欄

Q11. NEDOプロジェクト参画による当該製品（技術）の質的向上に関して、お答え下さい。

Q11-1. 現時点で振返り、NEDOプロジェクトへの参画によって、参画しなかった場合と比べて、貴機関が開発した製品（技術）の性能は向上しましたか。

- 1 著しく向上した                      2 かなり向上した                      3 少し向上した  
4 全く向上しなかった

回答欄

Q11-2. 現時点で振返り、NEDOプロジェクトへの参画によって、参画しなかった場合と比べて、貴機関が開発した製品のコストは削減しましたか。

- 1 著しく削減した                      2 かなり削減した                      3 少し削減した  
4 全く削減しなかった

回答欄

Q11-3. 現時点で振返り、NEDOプロジェクトへの参画によって、参画しなかった場合と比べて、貴機関が開発した製品（技術）の品質は向上しましたか。

- 1 著しく向上した  
4 全く向上しなかった

2 かなり向上した

3 少し向上した

回答欄

Q11-4. 現時点で振返り、NEDOプロジェクトへの参画によって、参画しなかった場合と比べて上市または製品化の時期は変化しましたか。

- 1 早まった  
2 早まらなかった  
3 遅れた  
4 NEDOプロジェクトがなかったら事業を展開していなかった  
5 その他

記述欄

回答欄

a. 「早まった」場合、どのくらい早まりましたか。

記述欄

b. 「早まった」場合、その理由は何ですか。

記述欄

c. 「早まらなかった」、または「遅れた」場合、その理由は何ですか。

記述欄

【NEDOプロジェクトに対する評価と改善点】

Q1. 現時点で振返り、NEDOが行ったプロジェクト運営管理で、良かった点、悪かった点、取り入れるべきであった点がありましたら、ご記入下さい。

良かった点（具体的に）

記述欄

悪かった点、取り入れるべきであった点（具体的に）

記述欄

【さいごに】

本調査票にてご回答頂いた内容について、補足等があればご記入下さい。

記述欄

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)

--

【詳細追跡アンケート調査票（NEDO-PJ対応事業 実施後中断 用）】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
終了後のテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

【1. プロジェクト参加時点の状況】

Q1. NEDOプロジェクト参加開始時点で、上市・製品化を想定していましたか。

1 はい

2 いいえ

回答欄

Q1-1. 「1 はい」を選択された場合は、プロジェクト参加開始時点で想定されていた上市または製品化の時期（年度）を西暦でお教え下さい。

記述欄

Q1-2. NEDOプロジェクトの実施にあたって、研究開発部門に加えて事業部門や事業化担当者（営業部門も含む）が初めて関与した時期をお教え下さい。

- 1 プロジェクト参加以前
- 2 プロジェクト参加開始時点（提案書作成、参加決定等）
- 3 プロジェクト前半
- 4 プロジェクト中間時点（中間評価への対応等）
- 5 プロジェクト後半
- 6 プロジェクト終了後
- 7 これまでに事業部門の関与はない

回答欄

Q2. NEDOプロジェクトで貴機関が行った技術開発は、プロジェクト参加開始時点において、貴機関を含めて何機関くらいで取組まれていましたか。またそのうち、国内機関は何機関程度でしたか。それぞれおおよその数をお教え下さい。

a. 全体

記述欄

b. うち、国内機関

記述欄

Q2-1. 上記の内、当該NEDOプロジェクトに参加した機関は貴機関を含めて何機関でしたか。

記述欄



Q3. NEDOプロジェクト参加開始時点において、当該プロジェクトに関する貴機関の技術開発力（技術ポテンシャル）は、他機関（他社）と比較してどの程度でしたか。

- 1 他機関と比較して圧倒的に進んでいた（もしくは貴機関のみが開発していた）
- 2 他機関と比較して進んでいた
- 3 他機関と同等のレベルにあった（競合する機関の中で平均レベル）
- 4 他機関と比較して遅れていた
- 5 他機関と比較して圧倒的に遅れていた

回答欄

Q4. NEDOプロジェクトへの参加開始時点における技術シーズは、どのようにして開発されましたか。【複数回答可】

- 1 参加開始時点では技術シーズはなく、NEDOプロジェクト実施中に開発した
- 2 NEDOプロジェクト参加前に、自社費用にて開発した
- 3 NEDOプロジェクト参加前に、公的資金を用いて開発した
- 4 NEDOプロジェクト参加前に、他機関から購入もしくはライセンスを受けた
- 5 その他  
記述欄

回答欄

Q5. NEDOプロジェクトへの参加の経緯としてあてはまるものは何ですか。【複数回答可】

- 1 経営陣による決定・指示
- 2 申請者（研究代表者）の上司（部門長など）による決定・指示
- 3 申請者（研究代表者）による自主的な参加（申請者が社内を説得）
- 4 他部門（事業部門など）からの誘い
- 5 民間他機関からの誘い
- 6 政府機関からの誘い
- 7 その他  
記述欄

回答欄

Q6. NEDOプロジェクト参加開始時点（もしくは直前）における、当該技術開発の貴機関内での位置付けはどのようなものでしょうか。

- 1 組織の戦略上不可欠と判断された技術開発
- 2 組織の戦略上重要と判断された技術開発
- 3 組織の戦略上特に重要と判断されてはいなかった技術開発
- 4 組織の戦略上ほとんど注目されていなかった技術開発
- 5 組織の戦略上不必要と判断されていた技術開発

回答欄

Q6-1. NEDOプロジェクト参加開始以前における、当該技術開発に対する貴機関内の支援状況（人的支援、金銭的支援、時間的支援）はどの程度でしたか。

- 1 全面的な支援を受けていた
- 2 比較的多くの支援を受けていた
- 3 平均的な支援を受けていた
- 4 支援は不十分であった
- 5 全く支援を受けられなかった
- 6 まだ開発が始まっていなかった（NEDOプロジェクトで開発が始まった）

回答欄

Q7. NEDOプロジェクト参加開始時点における、当該技術の重要性や意義に関する社会的認知の程度は如何ですか。

- 1 既に社会的に重要性や意義が十分に認知され、多くの機関が注目していた
- 2 重要性や意義が認知され始めており、複数の機関が注目していた
- 3 重要性や意義はまだ認知されていなかった
- 4 技術そのものの存在がまだ十分に認知されていなかった

回答欄

Q8. NEDOプロジェクトへの参加開始時点で、プロジェクトにより得られると期待したメリットは何でしたか。

a. 技術的課題の克服

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

b. コスト的課題の克服

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

c. 技術開発・製品開発のスピードアップ

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

d. 他機関との人的・組織的ネットワークの形成

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

e. 共同研究による他機関の技術の獲得

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

f. 他機関との共同による技術開発

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

g. リスクの分散（ハイリスクの開発へ取組むことができる）

- 1 全く当てはまらない
- 2 あまり当てはまらない
- 3 どちらとも言えない
- 4 概ねその通り
- 5 全くその通り

回答欄

h. 研究開発資金の確保

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

i. 人材育成（参加した研究者の質的向上）

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

j. 技術標準化の促進

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

k. NEDOプロジェクトへの参加による社外での知名度向上

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

l. NEDOプロジェクトへの参加による社内での正当性確保

- 1 全く当てはまらない  
4 概ねその通り

- 2 あまり当てはまらない  
5 全くその通り

- 3 どちらとも言えない

回答欄

Q9. 以下の「実際に得られた現時点でのプロジェクトの成果」について、プロジェクト参加当初に想定した目標の達成度という観点から主観的に評価して、お答え下さい。

a. 技術的課題の克服

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  
3 どちらとも言えない  
5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった  
4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

b. コスト的課題の克服

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  
3 どちらとも言えない  
5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった  
4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

c. 技術開発・製品開発のスピードアップ

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった  
3 どちらとも言えない  
5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった  
4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

d. 他機関との人的・組織的ネットワークの形成

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

e. 共同研究による他機関の技術の獲得

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

f. 他機関との共同による技術開発

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

g. ハイリスクな研究開発の実施

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

h. 人材育成（参加した研究者の質的向上）

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

i. 技術標準化の促進

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

j. 社外での知名度向上

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

k. 社内における開発活動の正当性確保

- 1 当初の目標をほとんど実現できなかった
- 3 どちらとも言えない
- 5 当初の目標を超えた成果が得られた

- 2 当初の期待ほどの成果は得られなかった
- 4 当初の期待通りの成果が得られた

回答欄

Q10. NEDOプロジェクトに参加したメンバーの人数についての質問です。全ておおよその人数でお答えください。

Q10-1. 本プロジェクトの開始から終了まで一貫して参加した中心メンバーは何人程度ですか。

記述欄

Q10-2. 前問でお答え頂いた中心メンバーを含め、本プロジェクトには、平均して常時何人くらいのメンバーが参加していましたか。

記述欄

Q10-3. 事業化を担当するメンバー（たとえば社内の事業部から参加するメンバー）は本プロジェクトに何人参加しましたか。プロジェクト参加開始時点、中間時点、終盤時点、プロジェクト終了後に分けて、それぞれおおよその人数をお答えください。

a. プロジェクト開始時点のおおよその人数

記述欄

b. 中間時点のおおよその人数

記述欄

c. プロジェクト終盤時点のおおよその人数

記述欄

d. プロジェクト終了後のおおよその人数

記述欄

Q11. プロジェクトメンバーの選出はどのように行われましたか。当てはまるものをその度合いの強い順に、左端の回答欄から記入して下さい。

- 1 貴機関の研究リーダーによる選出
- 2 メンバーの自主的参加（公募など）
- 3 組織の上司（部門長など）による指名
- 4 トップ経営陣による指名
- 5 社内の開発部隊がそのまま参加したので特に選出はない
- 6 その他

記述欄

回答欄

## 【2. プロジェクト活動について】

Q1. 貴機関は当該NEDOプロジェクトにどのような形で参加されていましたか。

- 1 集中研に参加し、実質的に他機関と共同開発
- 2 集中研に参加したが、実質的には自機関に持ち帰って単独開発
- 3 集中研には参加しなかったが、実質的には他機関と共同開発
- 4 集中研に参加せず、実質的に単独で開発

回答欄

Q2. プロジェクト活動に関する以下の記述に関して、お答え下さい。

a. プロジェクト実施にあたっての責任の所在が明確であり、また強力なリーダーシップを有するリーダーが存在した

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

b. 研究部門と事業部門を橋渡し、または研究から実用化まで担当するキーパーソンが存在した

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

c. プロジェクト期間中、貴機関の他部門の人々と頻繁なやり取りを行った

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

d. プロジェクト期間中、他機関のメンバーと頻繁なやり取りを行った

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

e. プロジェクト期間中、貴機関の組織から継続的な支援・協力（人的、金銭的）を受けることができた

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

f. プロジェクト期間中に、技術面または事業面で他機関との連携を行った

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

g. プロジェクト期間中からユーザーニーズを反映して開発目標を設定していた

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 全く当てはまらない | 2 あまり当てはまらない | 3 どちらとも言えない |
| 4 概ねその通り    | 5 全くその通り     |             |

回答欄

Q3. 以下の「技術動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による技術動向調査

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 全く行わなかった | 2 あまり行わなかった | 3 どちらとも言えない |
| 4 多少行った    | 5 積極的にを行った  |             |

回答欄

b. 社内部門（研究企画など）による技術動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

c. プロジェクトメンバーによる技術動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

Q4. 以下の「市場動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関を通じた市場動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

b. 社内部門（企画・営業・マーケティングなど）による市場動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

c. プロジェクトメンバーによる市場動向調査

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

d. プロジェクトメンバーによる顧客への直接的な接触

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

Q5. 以下の「コスト目標の設定」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による調査を参考にしてコスト目標を設定した

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

b. 社内部門（企画・営業・マーケティング・資材・購買など）の協力を得てコスト目標を設定した

1 全く行わなかった  
4 多少行った

2 あまり行わなかった  
5 積極的にいった

3 どちらとも言えない

回答欄

c. プロジェクトメンバーが共同でコスト目標を設定した

- 1 全く行わなかった
- 4 多少行った

- 2 あまり行わなかった
- 5 積極的に行った

3 どちらとも言えない

回答欄

d. プロジェクトリーダーもしくは一部のメンバーがコスト目標を設定し、メンバーで共有した

- 1 全く行わなかった
- 4 多少行った

- 2 あまり行わなかった
- 5 積極的に行った

3 どちらとも言えない

回答欄

Q6. 以下の「特許動向調査の実施」に関して、お答えください。

a. 外部調査機関による特許動向調査を実施した

- 1 全く行わなかった
- 4 多少行った

- 2 あまり行わなかった
- 5 積極的に行った

3 どちらとも言えない

回答欄

b. 社内部門（知財部など）の協力を得て知財戦略を策定した

- 1 全く行わなかった
- 4 多少行った

- 2 あまり行わなかった
- 5 積極的に行った

3 どちらとも言えない

回答欄

c. プロジェクトメンバーが自主的に知財動向を調査して知財戦略を策定した

- 1 全く行わなかった
- 4 多少行った

- 2 あまり行わなかった
- 5 積極的に行った

3 どちらとも言えない

回答欄

Q7. NEDOプロジェクトの期間中に、NEDO、プロジェクトリーダーまたはNEDOが組織した委員会から、以下の選択肢に記載された活動を行うように指導・指示は行われましたか。【複数回答可】

- 1 技術動向調査
- 4 特許動向調査

2 市場動向調査

3 コスト目標の設定

回答欄

### 【3. プロジェクト終了後の経緯】

Q1. プロジェクト期間中および終了時点において、当初の想定に反して起きたことに関して、お答えください。【複数回答可】

Q1-1. プロジェクト期間中

- 1 新たな技術的障害が判明した
- 2 想定外の優れた競合技術が出現した
- 3 予想外に景気が悪化した
- 4 想定したユーザーニーズが存在しなかった、または変化していた
- 5 新技術の導入コストの回収が難しかった
- 6 原料の安定確保が困難であった
- 7 組織における事業戦略が転換され技術開発の方向性と乖離した
- 8 研究開発投資の優先順位が下がった
- 9 優れた知見をもった研究者が退職した

回答欄



Q1-2. これらの想定に反して起きたことに対して、どのように対応されましたか。また、NEDO、プロジェクトリーダーまたはNEDOが組織した委員会等から有効な助言を得ていれば、その内容をお教え下さい。

記述欄

Q1-3. プロジェクト終了時点～現在

- 1 新たな技術的障害が判明した
- 2 想定外の優れた競合技術が出現した
- 3 予想外に景気が悪化した
- 4 想定したユーザーニーズが存在しなかった、または変化していた
- 5 新技術の導入コストの回収が難しかった
- 6 原料の安定確保が困難であった
- 7 組織における事業戦略が転換され技術開発の方向性と乖離した
- 8 研究開発投資の優先順位が下がった
- 9 優れた知見をもった研究者が退職した

回答欄

Q1-4. これらの想定に反して起きたことに対して、どのように対応されましたか（または対応される予定ですか）。また、NEDOがサポートできる点があれば、その内容をお教え下さい。

記述欄

Q2. 現時点における、当該技術分野における貴機関の特許ポジション（最も競争力のある他機関と比較した場合の貴機関の特許上の優位性）を評価してください。

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| 1 かなり劣位 | 2 劣位    | 3 他機関と同等 |
| 4 優位    | 5 かなり優位 |          |

回答欄

Q3. 現時点で、当該技術・製品を開発している企業は、貴機関を含めて何機関くらいですか。またそのうち、国内機関は何機関くらいですか。それぞれおおよその数をお答えください。

a. 全体

記述欄

b. うち、国内機関

記述欄

Q3-1. 上記の内、当該NEDOプロジェクトに参加した機関は貴機関を含めて何機関でしたか。

記述欄

Q4. プロジェクト活動が貴機関における現時点の人的・金銭的投資配分に与えた影響に関して、お答え下さい。

a. 組織内における、当該研究開発分野の人員配分

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 1 大幅に減った | 2 減った    | 3 変化なし |
| 4 増えた    | 5 大幅に増えた |        |

回答欄

b. 組織内における、当該研究開発分野への研究開発費配分

- 1 大幅に減った  
4 増えた

- 2 減った  
5 大幅に増えた

3 変化なし

回答欄

c. 組織内における、当該技術の事業化に関する投資配分

- 1 大幅に減った  
4 増えた

- 2 減った  
5 大幅に増えた

3 変化なし

回答欄

Q5. NEDOプロジェクト活動が貴機関の組織にどのような影響を与えましたか。【複数回答可】

- 1 当該研究開発に対応する新たな部署が設置された  
2 当該研究と関連する研究開発プロジェクトが社内で立ち上がった  
3 新たな事業部門が設置された  
4 新たな社内ベンチャーが生まれた  
5 新たに他社との合弁会社が設立された (設立された場合、数を記述欄にご記入ください)  
記述欄   
6 貴機関での新たな雇用創出・維持につながった

回答欄

Q5-1. 上記で選択された項目について、具体的な内容をお教え下さい。

記述欄

Q6. NEDOプロジェクト終了後、その成果を活用し実用化に向けた研究開発を継続する意思決定をするにあたって、重要な要因は何でしたか。具体的にその内容をお教え下さい。

記述欄

【4. 中断又は中止に至った原因を把握するための質問】

Q1. NEDOプロジェクトにおいて、貴機関が担っていた役割について最も当てはまるものはどれですか。

- 1 NEDOプロジェクト終了後は自機関にて製品の実用化を目指すことを念頭に、NEDOプロジェクトではそのために必要な研究開発を行った  
2 NEDOプロジェクトでは、実用化を目指す企業をサポートする役割 (例えば性能評価など) を担った  
3 標準化や知的基盤整備を目的としてプロジェクトに参加した

回答欄

Q2. Q1の設問で、1 とご回答された場合のみお答え下さい。 貴機関にて、NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用した研究・技術開発等を一旦実施したがその後中断又は中止すると決定した経緯及び理由について、詳細にご記入下さい。どのような理由 (技術未解決、コスト問題、競合技術、等) が顕在化し、どのような中断又は中止を回避する努力の後、いつ、誰 (役職を含む) が発議し、どのような場 (会議体) で、誰 (役職を含む) により決定/承認されたのか、具体的にお願います。なお、経緯が不明な場合は、別途お問い合わせすることがございます。ご協力の程、宜しくお願致します。

記述欄

Q2-1. 上記の理由の中でも、社の意思決定を左右した最大の理由は何ですか。

記述欄

Q2-2. 上記の最大の理由はいつごろから顕在化していましたか。

1 プロジェクト開始前

2 プロジェクト期間前半

3 プロジェクト期間後半

4 プロジェクト終了後

回答欄

Q2-3. 上記の最大の理由に対して、プロジェクト期間中を含め、事前に何らかの対策を取っていましたか。取っていた場合には、その内容も含めてお教え下さい。取っていなかった場合には、仮に実施すれば有効だったと考えられる対策（NEDOに対する要望を含みます）をお教え下さい。

記述欄

Q2-4. 貴機関がプロジェクト開始時に目指された市場規模（見通し）と比較し、中止したときの市場規模（見通し）は如何でしたか。

1 縮小した

2 変わらない

3 拡大した

4 市場規模の見通しを初めから立てていなかった

5 その他

記述欄

回答欄

Q3. Q1の設問で、2 又は 3 とご回答された場合のみお答え下さい。NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用した研究・技術開発等を一旦実施したがその後中断又は中止すると決定した経緯及び理由について、簡単にお答え下さい。

記述欄

以下は共通の質問です。NEDOプロジェクトで得られた知見や成果を利用して貴機関にて実施された事業につきましては、残念ながら中断又は中止されておられますが、開発を目指した技術や製品についてお答え下さい。

Q4. 開発を目指した技術や製品は、以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

1 従来、市場に無かったもの（新たな市場を切り開いたもの）

2 既存の市場において、世界最高水準にあたるもの

3 既存製品の性能や機能を格段に向上させたもの

4 ニッチ市場型のもの（隙間産業、隙間市場にて展開するもの）

5 プロセスイノベーションにあたるもの（コスト削減や低価格を実現したもの）

6 その他

記述欄

回答欄

Q5. 開発を目指した技術や製品の貴機関における位置づけは、どのようなものでしょうか。

1 新規事業の展開を図るもの      2 既存事業の強化を図るもの

3 その他

記述欄

回答欄

【5. NEDOプロジェクトに対する評価と改善点】

Q1. 現時点で振返り、NEDOが行ったプロジェクト運営管理で、良かった点、悪かった点、取り入れるべきであった点がありましたら、ご記入下さい。

良かった点（具体的に）

記述欄

悪かった点、取り入れるべきであった点（具体的に）

記述欄

【さいごに】

本調査票にてご回答頂いた内容について、補足等があればご記入下さい。

記述欄

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)

【詳細追跡アンケート調査票（NEDO-PJ対応事業 非実施 用）】

NEDOプロジェクト名	
プロジェクト実施機関	
プロジェクトにおけるテーマ名	
終了後のテーマ名	
NEDOとの関係	

ご担当者	所属機関名	
	所属部署	
	役職	
	氏名	
	連絡先	
	電話番号	FAX番号
	E-mail	
	ポータルID	有効期限

本調査票は、本年度ご協力頂いた追跡調査「事前準備シート」にて、「NEDOプロジェクトで得られた知見や成果を利用した継続的な研究・技術開発等を実施していない」とお答え頂いた場合にお送りしております。

Q1. NEDOプロジェクト参加当初の計画において、プロジェクトの終了後に、成果の実用化へ向けた継続的な取り組み（研究・技術開発を含む）を実施する予定はありましたか。

- 1 プロジェクト終了後に継続的な取り組みを実施する予定があった
- 2 プロジェクト終了後に継続的な取り組みを実施する予定はなかった
- 3 プロジェクト終了後に継続的な取り組みを実施する予定だったが、その内容を前倒しで達成した

回答欄

Q2. Q1の設定で、1 とご回答された場合のみお答え下さい。貴機関にて、NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用した研究・技術開発等を実施しないと決定した経緯及び理由について、詳細にご記入下さい。どのような理由（技術未解決、コスト問題、競合技術、等）が顕在化し、どのような非実施を回避する努力の後、いつ、誰（役職を含む）が発議し、どのような場（会議体）で、誰（役職を含む）により決定／承認されたのか、具体的にお願ひします。なお、経緯が不明な場合は、別途お問い合わせすることがございます。ご協力の程、宜しくお願ひ致します。

記述欄

Q2-1. 上記の理由の中でも、社の意思決定を左右した最大の理由は何ですか。

記述欄

Q2-2. 上記の最大の理由はいつごろから顕在化していましたか。

- 1 プロジェクト開始前
- 2 プロジェクト期間前半
- 3 プロジェクト期間後半
- 4 プロジェクト終了後

回答欄

Q2-3. 上記の最大の理由に対して、事前に何らかの対策を取っていましたか。取っていた場合には、その内容をお教え下さい。取っていなかった場合には、仮に実施すれば有効だったと考えられる対策（NEDOに対する要望を含みます）をお教え下さい。

記述欄

Q2-4. 貴機関がプロジェクト開始時に目指された市場規模（見通し）と比較し、中止したときの市場規模（見通し）は如何でしたか。

- 1 縮小した
- 2 変わらない
- 3 拡大した
- 4 市場規模の見通しを初めから立てていなかった
- 5 その他

記述欄

回答欄

Q3. Q1の設問で、2 又は 3 とご回答された場合のみお答え下さい。NEDOプロジェクト終了後、当該プロジェクトで得られた知見や成果を利用した研究・技術開発等を実施しない理由について、簡単にお答え下さい。

記述欄

以下は、全ての方にお答え頂く質問です。

Q4. NEDOプロジェクト期間中もしくは終了後に、プロジェクトに参加した貴機関の研究者が、他機関へ転出したか否かについて、以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- 1 転出はない
- 2 他の国内企業へ転出した
- 3 海外企業へ転出した
- 4 国内の大学や公的研究機関等へ転出した
- 5 海外の大学や公的研究機関等へ転出した
- 6 転出先は不明

回答欄

【技術の広がりについての質問】

Q5. 派生技術や他製品への技術転用、もしくは他機関への技術移転など、NEDOプロジェクトの成果をプロジェクトで計画していなかった用途で活用した事例はありますか。

- 1 ある
- 2 ない

回答欄

Q5-1. 「ある」場合、活用されているNEDOプロジェクトの成果とはどのようなものですか。【複数回答可】

- 1 開発・製造技術
- 2 評価・試験技術
- 3 科学的知見・データ
- 4 製作物（試作品等）
- 5 研究設備
- 6 その他

記述欄

回答欄

Q5-2. 上記のNEDOプロジェクトの成果の活用先は、以下のどれに当てはまりますか。【複数回答可】

- 1 新製品の開発
- 2 既存製品の生産プロセスの効率化
- 3 既存製品（商品）の改良
- 4 新規研究開発テーマ（企画）の設定
- 5 既存事業や他分野に関する現象や因果関係（メカニズム）の解明
- 6 研究開発ツールや社内技術標準としての活用
- 7 人材育成を通じたノウハウの波及
- 8 その他

回答欄

Q5-3. 上記のNEDOプロジェクトの成果はどこで活用されていますか。【複数回答可】

1 プロジェクトに参加した研究者の所属部署      2 社内の他部署

3 社外

4 その他

記述欄

回答欄

Q5-4. 上記のNEDOプロジェクトの成果はどのように活用されていますか。可能であれば、成果を活用して実施している研究開発テーマや製品名も含めてお教え下さい。また、社外で活用されている事例についても同様に可能な範囲でご記入ください。

記述欄

<例>●●の製造プロセスに使用され、従来より効率的な生産に寄与 / ●●の現象解明により、既存の●●事業に関する技術力向上に寄与 / 研究開発ツールとして使用され、●●分野の研究開発能力が向上 / 新たに●●の技術課題が抽出され、開発が進展 / 本プロジェクトに参加した研究員が、ノウハウを活かして●●の開発に貢献

【さいごに】

本調査票にてご回答頂いた内容について、補足等があればご記入下さい。

記述欄

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

NEDO管理欄(エラー未修正の理由)